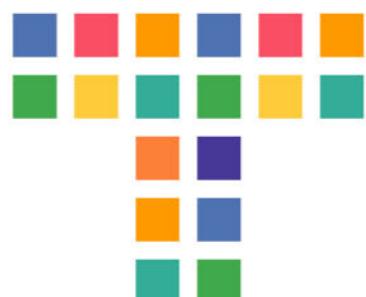


中心市街地活性化への歩み

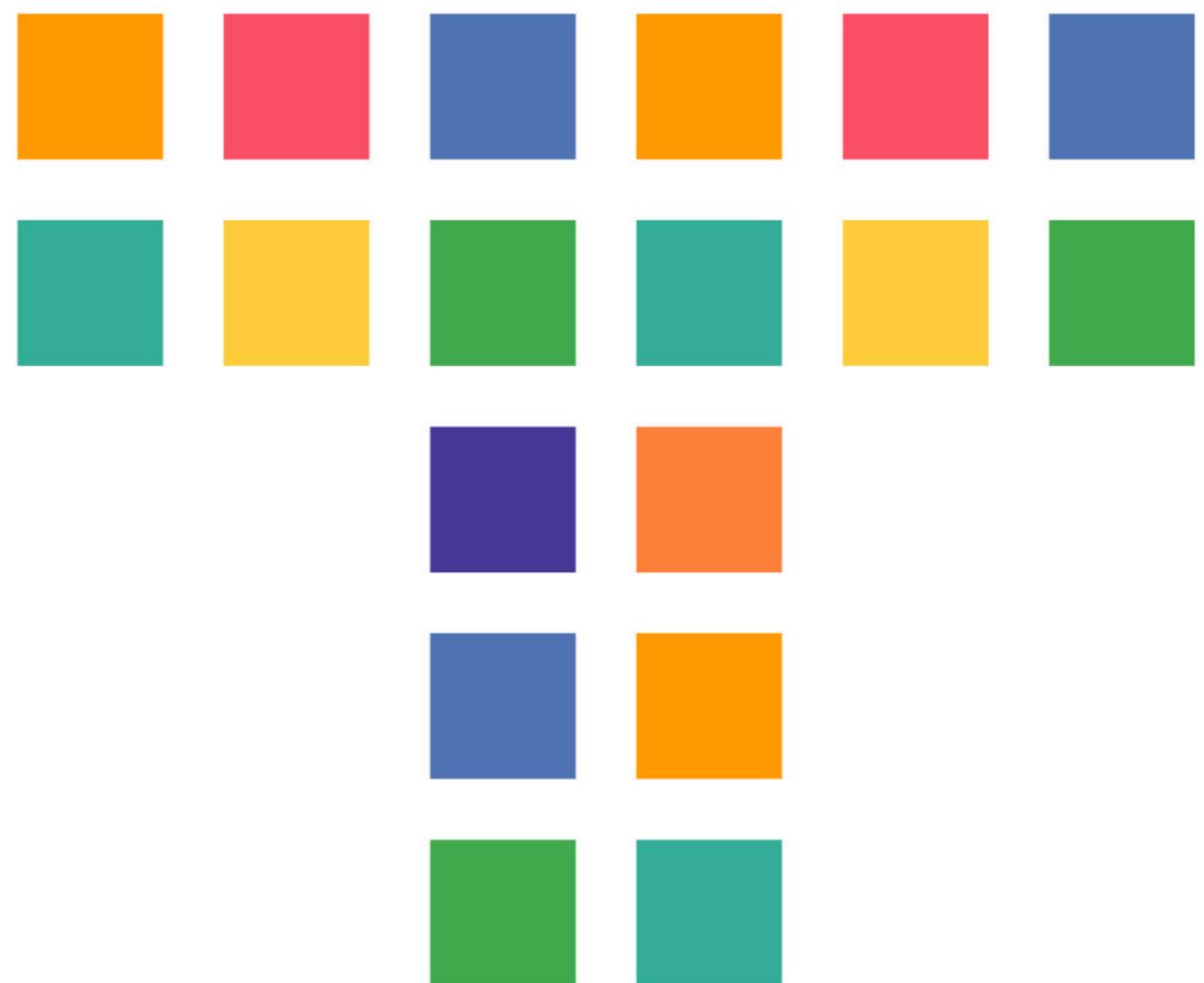
平成22年度版



豊田まちづくり株式会社

豊田市若宮町1-57-1 〒471-0026
www.tm-toyota.co.jp

平成22年6月編集 (vol.7)



豊田まちづくり株式会社

目 次

ごあいさつ	1
・豊田まちづくり株の設立経緯及び事業経過	2
会社概要	6
会社組織	8
会社決算の推移	9
商業機能の充実(テナントミックス事業)	
・豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業	10
・商業機能等配置実行計画	12
・中心市街地ショッピングモール化推進事業	14
・商店街活性化事業	16
・チャレンジショッピングモール SEED	18
集客プロモーションの充実	
集客プロモーション事業	
・まちなか宣伝会議	20
・集客プロモーション事業	22
情報発信事業	
・屋外回転広告(AIRS)	24
・豊田市総合案内板情報表示装置	25
おもてなし(環境整備)事業の充実	
・フリーパーキング事業	26
・TM若宮パーキング	28
・多目的広場(シティプラザ)整備事業	29
・ショッピングカート共同利用事業	30
・有料駐輪場事業	31
・まちなかレンタサイクル事業	32
・飲むならパーキング事業	33
・まちなかクリーンアップ事業	33
地域のまちづくり活動	
・豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業	34
・広域のまちづくり活動	36
豊田市のまちづくり	
・豊田市中心市街地活性化基本計画	38
・ハイブリッド・シティとよた	40
・豊田市中心市街地活性化協議会の運営	42
・豊田市商業振興条例	44
・商業活性化推進交付金による事業の数々	46
その他のまちづくり事業	
・一店逸品運動	48
・とよた元気プロジェクト	49
・中心市街地まちづくり活動センター(通称パブリカ)	50
・飲み歩きイベント「とよた西町はしご酒」	51
資料	
・豊田市データ	52
・交通アクセス	54
・豊田市の産業	56
・豊田市の財政	57
・周辺商業施設概要	58
・豊田市中心市街地の歩行者通行量	60
・全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議	64
まちづくり推進団体	65



『中心市街地活性化への歩み』の編纂に当たり、まちづくり事業に携わる全ての皆様に、改めて敬意を表する
と共に深く感謝申し上げます。

さて、当社設立のきっかけとなりました豊田そごうの破綻から丸10年を迎える年となりました。以来、破綻による混乱の收拾を図り、一方で中心市街地活性化に向けたまちづくり事業を皆様と共に推進して参りました。しかしながら、一昨年からの急激な経済変動により当社を取り巻く環境も大きく変化をしております。この様な状況に対応するために、平成20年度から進めておりました第三期3ヵ年計画(飛躍への挑戦期)を平成21年度で終了し、改めて平成22年度から平成24年度までの第四期3ヵ年計画(原点回帰の期)を策定しスタートをしております。

第四期3ヵ年計画(原点回帰の期)の策定に当たっては、当社設立の目論見にご賛同・ご出資頂いた株主様への感謝を新たにする中、公的資金返済のための経営路線確立とまちづくり事業を推進する会社としての使命を再認識し、計画策定の柱として参りました。また、まちづくり事業は、「中心市街地活性化協議会」の下にTCCMと協働して、各種事業に積極的に取組んで参ります。

一方、豊田市は、平成21年1月、「環境モデル都市」に、平成22年4月、次世代送電網「スマートグリッド」実証実験都市に選定されました。新たな価値・仕組みによるまちづくりへの挑戦がすでに始まっています。

地元豊田は、まだまだ先行き不透明な経済情勢にあります。声を大にして、地元を愛し、地元の産業を盛り上げましょう、地元でお買い物をしましょう！と言いたい思いであります。今年のおいでんまつりは「市民力」がテーマと聞いています。皆様の力で活力に満ちた元気な豊田を築いて参りたい、皆様の更なるご指導・ご支援を心からお願い申し上げる次第です。

平成22年6月

豊田まちづくり株式会社

会長 板倉 猛

代表取締役 鈴木 幸穂

豊田まちづくり(株)の設立経緯及び事業経過

破綻による混乱期

- | | | |
|-------|---------------|--|
| 平成12年 | 7月12日 | (株)豊田そごう民事再生手続き開始の申立て |
| | 7月26日 | (株)豊田そごう民事再生手続き開始の決定(東京地方裁判所) |
| | 9月 1日 | 豊田市がA館9階に子育て支援センターを開業 |
| | 10月25日 | 豊田そごう閉店発表 |
| | 10月30日 | 中心市街地まちづくり会議、(協)豊田市商店街連盟が豊田市長へ要望書提出 |
| | 11月 2日 | 市議会思政クラブが豊田市長へ要望書提出 |
| | 11月27日 | 豊田商工会議所が「中心市街地の活性化・再生に関する提案・要望書」を豊田市長に提出(再生スキーム案の提出) |
| | 12月13日 | 豊田市が中心市街地を考えるまちづくり意識調査実施(アンケート) |
| | 12月25日 | 豊田そごう閉店 |
| 平成13年 | 3月 9日 | そごう再生本部との交渉妥結 |
| | 3月12日 | 東京地方裁判所による再生手続きの廃止決定 |
| | 3月16日 | 債権銀行団との交渉妥結 |
| | 3月21日 | 3月定例市議会で緊急活性化条例、貸付金の予算可決 |
| | 4月12日 | 豊田市より、とよた商人(株)に48億円の貸付実行 |
| | 4月13日 | とよた商人(株)が(株)豊田そごうの土地、建物、債権を取得 |
| | 4月16日 | (株)松坂屋との出店に関する基本合意書調印 (株)松坂屋が出店表明 |
| | 4月18日 | 東京地方裁判所にて(株)豊田そごう破産決定 |

豊田まちづくり(株)の創立期

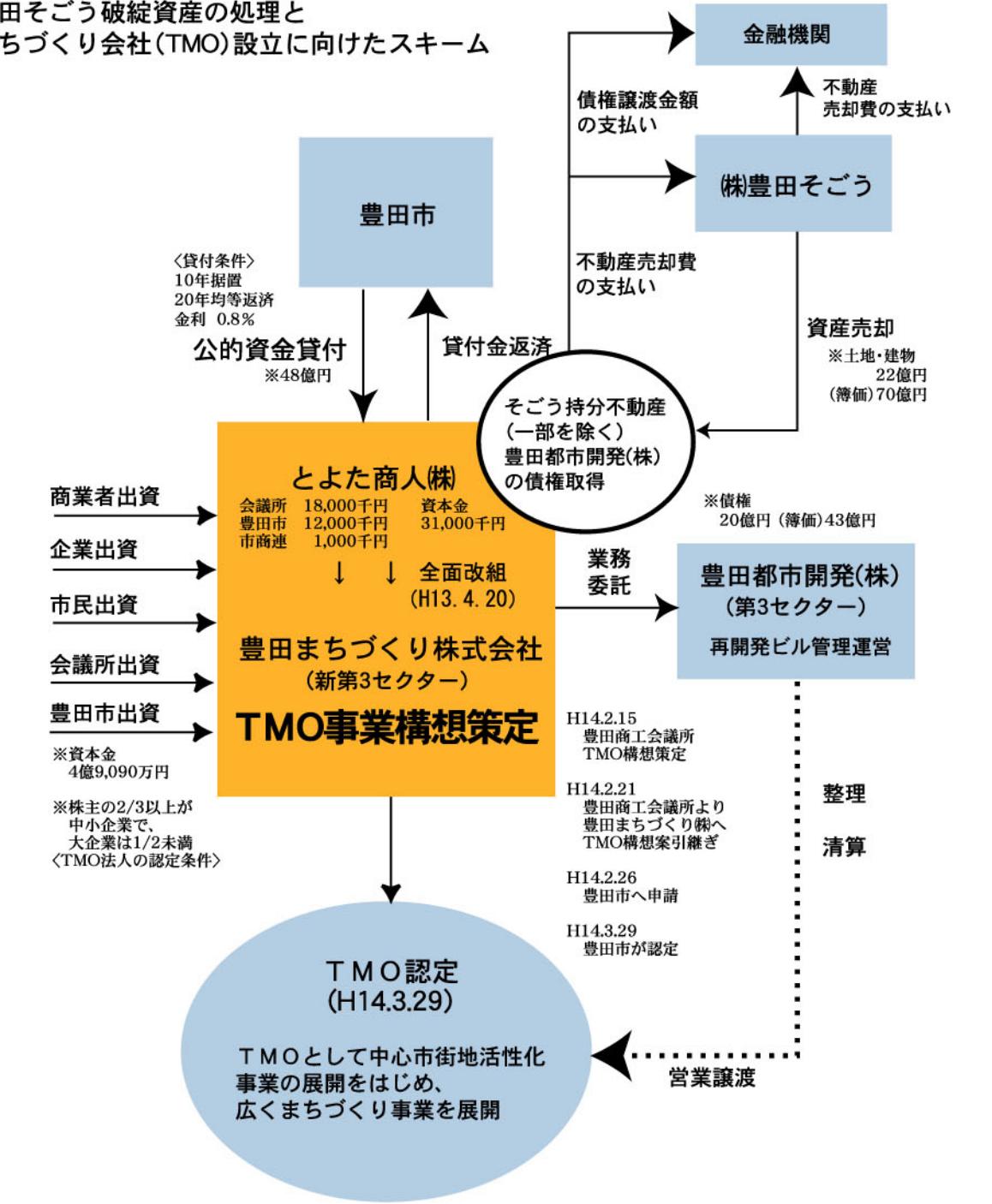
- | | | |
|-------|---------------|--|
| 平成13年 | 4月20日 | 臨時株主総会、とよた商人(株)を改組、豊田まちづくり(株)に商号変更、新役員選任 |
| | 6月27日 | 平成12年度・第7期 定時株主総会 |
| | 9月29日 | 資本金確定(4億9,090万円) |
| | 10月25日 | 松坂屋豊田店開店、とよた市民活動センター開業 |
| | 11月22日 | (株)マイカルが会社更生法適用を申請 |
| 平成14年 | 1月28日 | (株)マイカルが豊田サティを含む19店舗閉鎖を発表 |
| | 2月26日 | 豊田まちづくり(株)、豊田都市開発(株)臨時株主総会にて分割契約書承認 |
| | 3月29日 | 豊田市が豊田まちづくり(株)をTMO法人として認定 |
| | 3月31日 | 豊田まちづくり(株)が分社型吸收分割により、豊田都市開発(株)を統合 |

TMO法人豊田まちづくり(株)の本格始動

■第一期3カ年計画(平成14年度～16年度)経営基盤整備の期

- | | | |
|-------|---------------|--|
| 平成14年 | 4月 1日 | 会社分割登記、TMO法人豊田まちづくり株式会社の発足 |
| | 4月10日 | 豊田都市開発(株)が会社解散決議 |
| | 4月16日 | 臨時株主総会 |
| | 4月26日 | トヨタ生協が豊田サティ後継店としての出店方針を発表 |
| | 5月31日 | 豊田サティ閉店 |
| | 6月28日 | 平成13年度・第8期 定時株主総会 |
| | 7月15日 | メグリアセントレ(トヨタ生協)1階(食品)オープン |
| | 10月19日 | メグリアセントレ(トヨタ生協)2階(衣料・雑貨)オープン |
| | 11月 1日 | まちなかクリーンアップ事業始動 |
| | 11月 2日 | チャレンジショップ「TM SEED」開業 |
| 平成15年 | 3月19日 | TM若宮パーキング工事着手 |
| | 4月 1日 | 中心市街地フリーパーキング事業の開始 |
| | 5月30日 | 豊田まちづくり(株)が大型空き店舗活用支援事業補助金を活用してギャザビル3階にテナント誘致、オープン |
| | 6月30日 | 平成14年度・第9期 定時株主総会 |
| | 8月22日 | まちなか宣伝会議立ち上げ |
| | 9月 6日 | ヤンチャタウン実行委員会が「まちなかレンタルサイクル」事業開始 |

豊田そごう破綻資産の処理と まちづくり会社(TMO)設立に向けたスキーム



- | | | |
|-------|--------------|--|
| 平成16年 | 3月 5日 | B館T-FACE3階リニューアルオープン |
| | 3月20日 | TM若宮パーキング竣工 |
| | 6月30日 | 平成15年度・第10期 定時株主総会 |
| | 8月30日 | TM若宮パーキング1階 豊田市ITS情報センター「みちナビとよた」開業 |
| | 8月31日 | 多目的広場(シティプラザ)整備事業竣工 |
| | 11月 6日 | チャレンジショップ「TM SEED」リニューアルオープン |
| 平成17年 | 3月19日 | 東海環状自動車道鞍ヶ池公園ハイウェイオアシスにコンビニエンスストア開業 |
| | 3月31日 | 第一期3ヵ年計画(平成14年度～16年度 経営基盤整備の期)の終了
平成16年度決算で過去の累損を解消 |



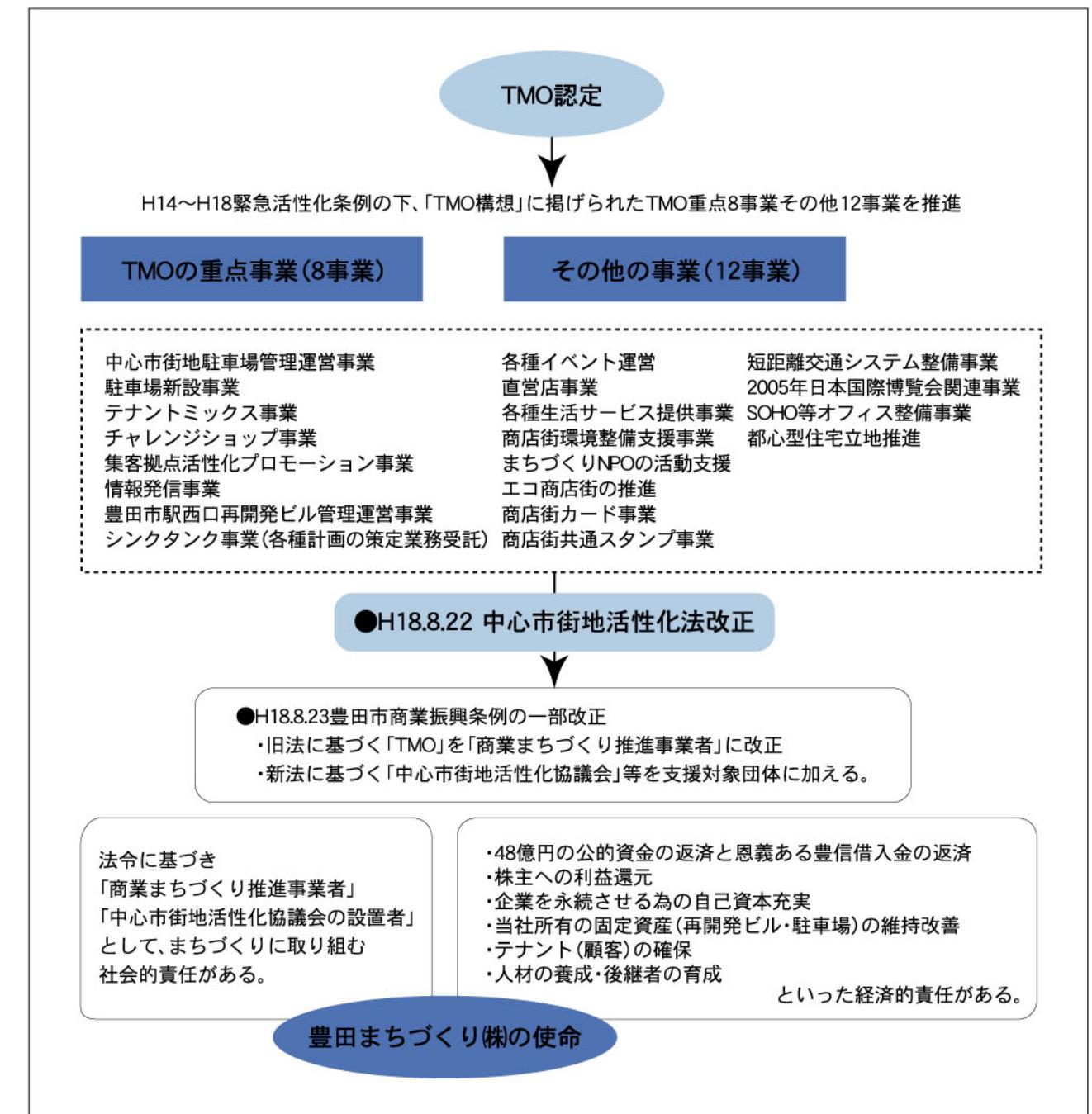
豊田まちづくり(株)の設立経緯及び事業経過

■第二期3カ年計画(平成17年度～19年度)経営強化前進の期

- 平成17年 5月25日 平成17年度第2回取締役会 借入金48億(豊田市)の返済開始を決議
 6月 3日 地域限定ハローキティグッズ販売開始
 6月 8日 豊田市より、豊田市商業活性化交付金、商業活性化推進3カ年計画の認定
 6月29日 平成16年度・第11期 定時株主総会
 7月29日 借入金(豊田市)の返済開始
 10月 1日 ショッピングカード共同利用事業オリジナルカード登場
 10月25日 桜町本通り商店街振興組合ファサード整備事業TMO計画認定
 平成18年 1月 5日 産業文化センター駐車場がフリーパーキング事業に加盟開始
 2月13日 駅西再開発ビル等総合管理委託業務(提案型見積競争)入札執行
 3月15日 豊田商工会議所会館竣工
 4月 1日 エコストーション21豊田駅西(ビル外周駐輪場有料化事業)開業
 4月30日 「桜町本通り商店街ファサード事業」「市道中町線・桜町1号線道路整備事業」完成式典
 6月28日 平成17年度・第12期 定時株主総会
 7月 8日 桜町本通り商店街八日朝市の開始
 8月 7日 まちなかレンタルサイクル社会実験(豊田市)スタート
8月22日 中心市街地活性化法改正
 10月 7日 T-FACE飲食店街リニューアルオープン
10月10日 豊田市中心市街地活性化協議会設立
 11月16日 コモパーキングオープン
 11月17日 ホテルトヨタキャッスルオープン
 12月 1日 まちなかワンナイトパーキング事業(実験)開始
 平成19年 4月27日 コモ・スクエアオープン
 6月 1日 桜町ほうだら会、豊田市等と共に都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」受賞
 電波の日に東海総合通信局より表彰(TM若宮パーキングでのDSRC活用)
 6月27日 平成18年度・第13期 定時株主総会 剰余金の配当を決議
 7月 1日 まちなかレンタサイクル事業開始
 平成20年 3月 4日 第8回中心市街地活性化協議会 TCCM設置の決議
 3月19日 T-FACE飲食店街3店新規オープン
 3月31日 第二期3カ年計画(平成17年度～19年度 経営強化前進の期)の終了

■第三期3カ年計画(平成20年度～22年度)飛躍への挑戦期

- 平成20年 4月15日 第1回TCCM定例会議(TCCM活動スタート)
 6月25日 平成19年度・第14期定時株主総会
7月 9日 国が「豊田市中心市街地活性化基本計画」を認定
 9月 2日 中心市街地活性化協議会シンポジウム「広域豊田市における中心市街地の役割と将来の姿」
 10月 1日 豊田市がA館9階に「とよた子どもの権利相談室」開業
10月 8日 T-FACE開業20周年
 12月 4日 小中機構 街元気プロジェクト「豊田市・現地研修」開催
 平成21年 1月23日 国が豊田市を「環境モデル都市」として選定
 2月26日 愛知県公安委員会が豊田まちづくり㈱を警備業認定
 3月 6日 とよた元気プロジェクト発足
 3月17日 中心市街地活性化協議会セミナー「中心市街地のエリアマネジメント」
 4月 4日 竹生線道路・街路灯完成記念式典
 (行政・商店街・地域住民共働で進めてきた竹生線等周辺の道路整備完了にともない)
 4月24日 愛知県が豊田市中心市街地を第一種大規模小売店舗立地法特例区域に指定
 (①国道155号線並びに豊田市道駅西第2号線、櫻通り線及び駅西5号線で囲まれた区域
 ②豊田市道大洞長生線、蔵前陣中線、西町若宮線及び豊田市駅東歩行者道線で囲まれた区域)
 6月 2日 豊田まちづくり㈱鈴木代表取締役が全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議の会長に就任
 (第3回総会にて)
 6月26日 平成20年度・第15期定時株主総会
 7月25日 当社受託による第41回豊田おいでんまつり開催
 9月14日 豊田市緊急雇用創出事業としてまちなかおもてなしパトロール事業開始



- 平成21年 10月 1日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第5回勉強会(in高松市丸亀町)
 10月24日 松坂屋豊田店とT-FACEによる初の合同周年祭を開催
 10月28日 中活基本計画事業・飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒」No.1開催
 11月 7日 新チャレンジショップOPEN
 12月16日 豊田市初ビジネスフェア開催(当社受託)
 平成22年 2月18日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第6回勉強会(in豊田市)
 2月24日 中活基本計画事業・飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒」No.2開催
 3月31日 経済情勢の変動により第三期3カ年計画は平成22年3月末にて終了

■第四期3カ年計画(平成22年度～24年度)原点回帰の期

- 平成22年 4月 9日 豊田市が経産省の次世代送電網「スマートグリッド」実証実験都市に選定
 5月19日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第4回総会

会社概要

会社概要

【商 号】 豊田まちづくり株式会社
 【本 店】 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
 【設 立】 平成13年4月20日
 【資 本 金】 授権資本 12億9,600万円
 払込資本 4億9,090万円

【株主構成】

株 主	株主数	出資額 (単位:千円)	株主数比率 (単位:%)
大 企 業	25名	82,900	13.30
中小企業・個人	158名	36,300	84.04
内／商 業 関 係	(73名)	(13,000)	(38.83)
団 体	4名	369,550	2.13
自 己 株 式	1名	2,150	0.53
合 計	188名	490,900	100.00

【大 株 主】(100株以上)

株 主 名	持株数	出資額 (単位:千円)	持株比率 (単位:%)
豊 田 市	6,240	312,000	63.83
豊 田 商 工 会 議 所	991	49,550	10.13
トヨタ自動車株式会社	400	20,000	4.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	10,000	2.04
株 式 会 社 松 坂 屋	200	10,000	2.04
豊 田 鉄 工 株 式 会 社	200	10,000	2.04
小 島 株 式 会 社	120	6,000	1.22
協同組合豊田市商店街連盟	100	5,000	1.02
大 豊 工 業 株 式 会 社	100	5,000	1.02
豊 田 信 用 金 庫	100	5,000	1.02
太 啓 建 設 株 式 会 社	100	5,000	1.02
合 計	8,751	437,550	89.52

※持株比率は、自己株式を除く発行済株式総数に対する持株数の割合であります。

【役員体制】 取締役および監査役(平成22年4月1日現在)

取締役会長	板倉 猛	財団法人豊田市都市整備公社 副理事長 (豊田市駅前通り南開発株式会社 代表取締役)
代表取締役	鈴木 幸穂	豊田商工会議所 顧問 (太啓建設株式会社 相談役)
取締役	中村 紀世実	豊田市 副市長
取締役	鈴木 辰吉	豊田市 産業部部長
取締役	村端 達也	トヨタ自動車株式会社 総務部部長
取締役	寺田 寿孝	豊田商工会議所第3商業部会 部会長 (豊田酒造株式会社 代表取締役社長)
取締役	河木 照雄	豊田商工会議所 副会頭 (株式会社山田屋 代表取締役)
取締役	小山 正之	豊田市駅前通り南開発株式会社 常務取締役
取締役	深津 和則	豊田まちづくり株式会社 取締役事業統括
監査役	田中 健一	豊田市 会計管理者
監査役	今井 康夫	豊田商工会議所 副会頭 (豊田信用金庫 相談役)

経営理念

豊田まちづくり(株)は、

1. 豊田市まちづくりのために、行政・会議所・商業者及び地域の方々と共に働くして、地域発展に寄与する各種事業を推進する。
2. 第三セクターの企業経営責任を自覚し、常に健全経営を追求して適切な情報公開のもと地域社会の信頼を得る。
3. 従業員の能力向上を支援すると共に、働き甲斐のある職場を目指し、その安心・安全と幸せを守る。

基本方針

1. 長期的な経営(利益)計画の策定・実行
2. 商業環境整備・地域開発等の各種まちづくり事業の推進
3. 商業デベロッパーとして迅速な事業展開及び新事業の企画開発
4. 人材の育成と働き甲斐のある職場づくり
5. CSRを自覚した企業経営の推進
6. 中心市街地活性化協議会及びTCCMとの協調によるまちづくり事業の推進

経営課題

1. 経済変動に耐え得る事業の再構築と経営基盤強化策の実施
2. 資産価値向上のための計画的投資の実施
3. まちづくり事業への積極的取り組み
4. 豊田おいでんまつり受託事業の完遂
5. 借入金の返済と資金留保策推進
6. CSRを自覚した企業活動
7. 人事制度の推進と組織力の強化

主な業務内容

	事 業 名	頁
商業機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●テナントミックス事業 <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 ・商業機能等配置実行計画 ・中心市街地ショッピングモール化推進事業 ・商店街活性化事業 ・チャレンジショップTM SEED 	P10 P12 P14 P16 P18
集客プロモーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●集客プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか宣伝会議 ・集客プロモーション事業 ●情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外回転広告(AIRS) ・豊田市総合案内板情報表示装置 	P20 P22 P24 P25
おもてなし(環境整備)事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●フリーパーキング事業 ●TM若宮パーキング ●多目的広場整備事業 ●ショッピングカート共同利用事業 ●有料駐輪場事業 ●まちなかレンタサイクル事業 ●飲むならパーキング事業 ●まちなかクリーンアップ事業 	P26 P28 P29 P30 P31 P32 P33 P33
地域のまちづくり活動	<ul style="list-style-type: none"> ●豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業 ●広域のまちづくり活動 	P34 P36

※上記の他、各種調査を受託している。

— 平成21年度受託調査実績 — <>内は事業主体

- ・まちパワー秋・春アンケート調査
- ・足助商工まつりにおける調査(歩行者通行量)
- ・(協)豊田市商店街連盟商店街モニター調査
- ・豊田市中心市街地自動車の共同利用に関する調査
- ・豊田市中心市街地現況把握調査(通行量調査)
- ・豊田市中心市街地通行量自動計測装置管理業務(パロッキー集計)
- ・豊田市「花のあるまちづくり」施策に関する市民意識調査
- ・ひまわり商品券入力集計業務

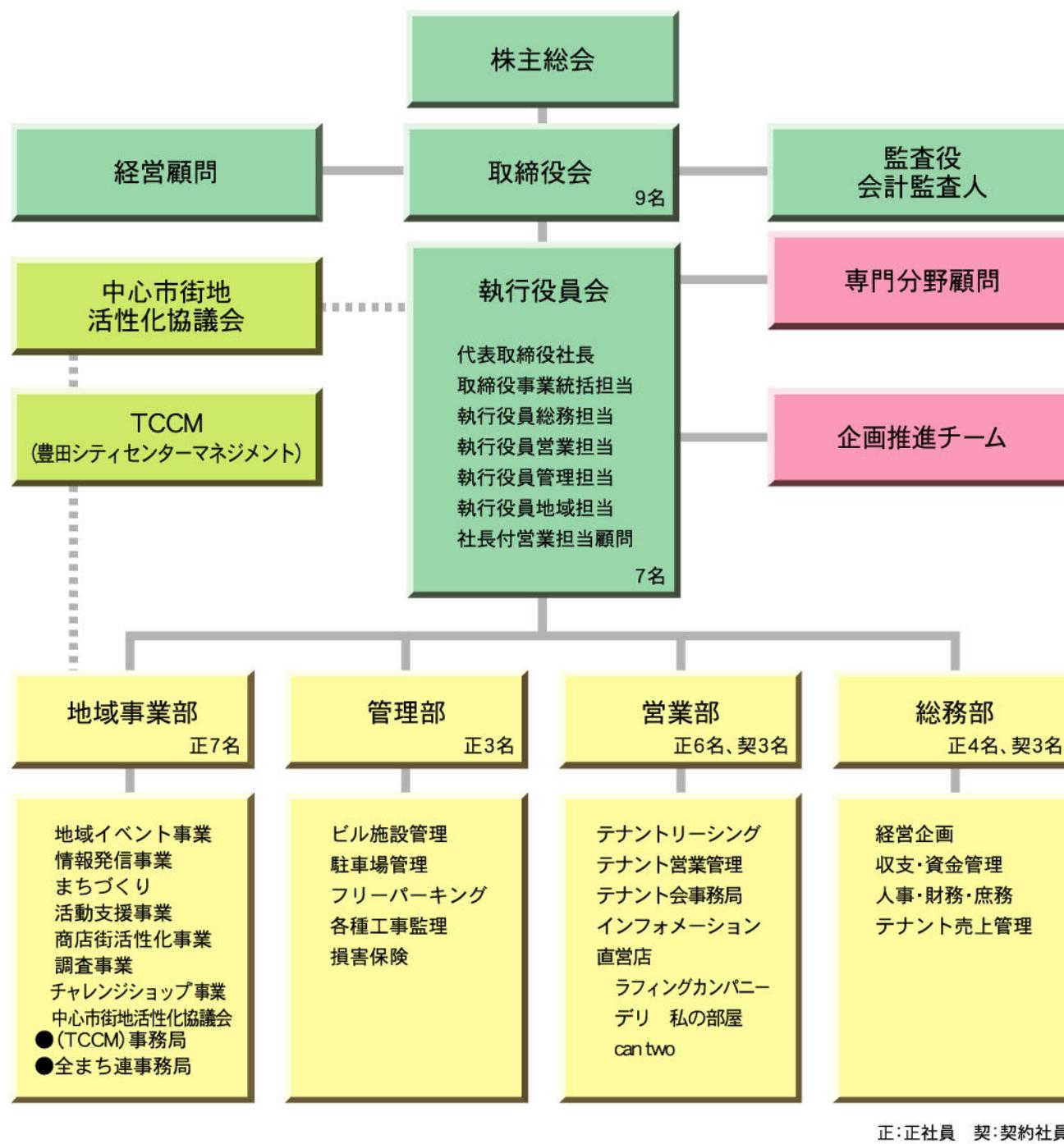
- ・まちなか宣伝会議実行員会
- ・足助商工連盟
- ・(協)豊田市商店街連盟
- ・(財)豊田市都市整備公社
- ・(財)豊田市産業部商業観光課
- ・(財)豊田市産業部商業観光課
- ・(財)豊田市公園緑地協会
- ・(協)豊田市商店街連盟

会社組織

組織編成方針

1. 経営顧問を委嘱し、経営全般にわたる助言を受ける。
2. 会社目標を達成するため取締役会の決定のもと、執行役員会を機能させる。
3. 中心市街地活性化協議会・TCCMとの連携により、まちづくり事業を推進する。

(平成22年4月1日現在)



会社決算の推移

連続貸借対照表

(単位:千円)

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
資産の部	流動資産	555,685	667,282	713,274	818,673	731,759	776,025
	有形固定資産	7,094,206	6,778,285	6,586,272	6,403,534	6,153,274	5,939,073
	無形固定資産	15,689	13,825	19,210	20,991	15,342	10,537
	投資その他の資産	81,509	81,654	104,451	107,380	112,158	122,345
	資産合計	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536	6,847,982
負債・純資産の部	流動負債	616,665	669,422	707,681	769,770	577,726	608,165
	固定負債	6,627,822	6,335,341	6,095,300	5,865,285	5,636,356	5,377,587
	負債合計	7,244,488	7,004,764	6,802,982	6,633,055	6,214,803	5,985,753
	資本金	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
	利益準備金				1,472	2,938	4,405
	繰越利益剰余金	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082
	自己株式(△)				2,158	2,158	2,158
	純資産合計	502,602	536,283	620,226	717,523	798,452	862,228
負債・純資産合計		7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536	6,847,982

連続損益計算書

(単位:千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
売上高	2,293,799	2,382,086	2,397,340	2,458,394	2,440,440	2,485,200
売上原価+販売費及び一般管理費	2,219,543	2,271,595	2,201,561	2,224,802	2,235,975	2,330,571
営業利益	74,255	110,491	195,778	233,592	204,465	154,628
営業外収益	65,887	83,358	47,055	36,004	36,201	20,137
営業外費用	102,978	103,316	58,437	75,068	55,815	44,697
経常利益	37,164	90,533	184,396	194,528	184,851	130,068
特別利益	50,401	621	0	8,934	13,788	19,854
特別損失	51,566	29,855	76,293	12,905	32,508	17,540
税引前当期純利益	36,009	61,299	108,102	190,556	166,131	132,382
法人税、住民税及び事業税	10,578	27,617	24,160	76,373	70,539	52,904
当期純利益	25,430	33,681	83,942	114,182	95,592	78,438
前期繰越利益剰余金	△ 13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772
利益剰余金配当額(△)				14,727	14,662	14,662
利益準備金積立額(△)				1,472	1,466	1,466
繰越利益剰余金	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082

設備投資の状況

(単位:千円)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
TM若宮P事務所、ティ プラザ整備、中央監視 システム等	ビル設備・内装、 情報セキュリティ等	ビル設備・内装・会計 契約管理システム等	ビル設備・内装、 入退館・勤怠管理・ 入室システム等	ビル設備・内装、 社内パソコン更新等	ビル設備・直営内装、 ビル底地、チャレンジ ショップ改装等
240,108	67,440	120,971	116,449	50,025	78,628

豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業

豊田市駅西口市街地再開発ビルの概要

豊田市駅西口市街地再開発ビルを所有し賃貸する。キーテナントとして「松坂屋豊田店」を誘致し、専門店街「T-FACE」の管理運営を行う。また賃貸事業の一環として、直営店事業を展開する。

再開発ビル営業の再生

昭和63年10月に竣工した豊田市駅西口市街地再開発ビルは、A館、B館のツインビルで、百貨店「豊田そごう」(A館全館・B館4階～11階)とファッション専門店街「T-FACE」(B館1階～3階)の複合ビルとしてスタートした。平成12年12月に豊田そごうの閉店後、A館1階～6階に「松坂屋豊田店」を誘致、その他のフロアのすべてを専門店街「T-FACE」として再オープンに至った。その後、平成16年3月にB館3階、同年9月にB館4階、平成18年10月にB館8-9階(飲食フロア)をリニューアルしている。

再開発ビルフロアマップ



施設概要

建物名称	豊田市駅西口市街地再開発ビル
所在地	愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
建物構造	A館 鉄筋鉄骨コンクリート地下1階・地上9階 B館 鉄筋鉄骨コンクリート地下1階・地上11階
建物面積	延床面積 66,519m ² A館:43,466m ² B館:23,020m ²
店舗面積	松坂屋豊田店 19,500m ² T-FACE 物販 15,282m ² 飲食・サービス 5,276m ²

営業時間	松 坂 屋 10:00～19:00 ※土日のみ10:00～19:30
	T - F A C E 10:00～20:00
	ごちそうダイニング 11:00～23:00
	※サービス店等一部異なる。
年間休日	不定休(年間3～4日程度)
駐車場	約4,100台 ※フリーパーキングシステムに加入の近隣駐車場収容台数。 TM若宮パーキング、第1駐車場、若宮駐車場他

豊田市駅西口市街地再開発ビル等の一括総合管理

再開発ビルの健全な維持管理に必要な業務は、緊急事案への迅速な対応、全関連業務での意識統一・連携、また業務範囲・作業量変化へのフレキシブル対応等のため一事業者(提案型見積競争入札により選定)、一括管理委託している。また、管理事業者と共に、業務の効率化による管理経費の削減策を隨時検討・実施している。

一括総合管理

設備管理業務

清掃管理業務

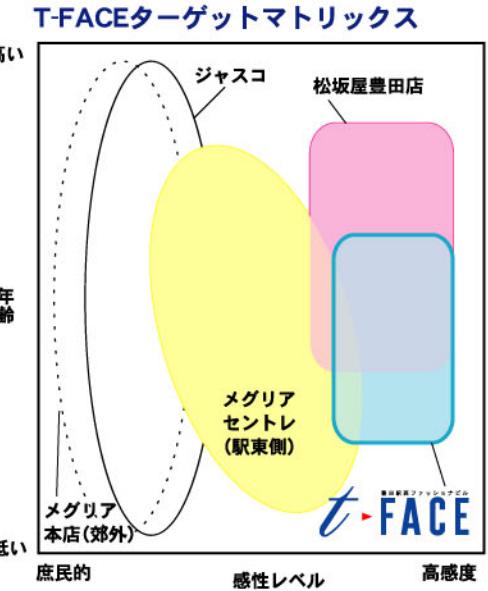
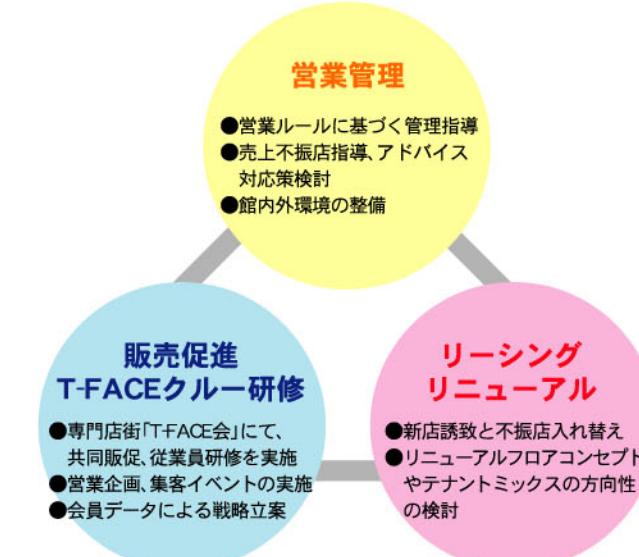
保安警備業務

駐車場管理業務

専門店街T-FACEの運営

T-FACEコンセプト

ヤングからヤングマインドを持った、ファッショントレンドに敏感な女性をメインターゲットとし、都市型ファッションビルとして、常に新しい情報を発信する役割を担う。



直営店事業

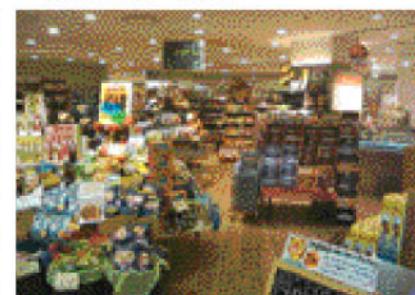
店舗経営のノウハウの蓄積、デベロッパー業務へのフィードバックを目的に事業展開をしている。

ラフィングカンパニー (アウトドアショップ)



平成6年10月／豊田市広路町オープン
平成14年3月／A館T-FACE 8階
移転リニューアルオープン
店舗面積／80坪

デリ (輸入食材・雑貨)



平成12年3月／B館T-FACE 6階 オープン
店舗面積／73坪

私の部屋 (生活雑貨)



平成21年4月／B館T-FACE 6階
リニューアルオープン
店舗面積／45坪

アウトドア専門店としてトレッキング、キャンプからクライミング等のアウトドアアクティビティをウェアからグッズまでトータルコーディネートで提案。また、アウトドアファッション専門店としてもこだわりをもち、定番から旬のブランド(バタゴニア、ザ・ノースフェイス、コロンビア、ホグロフス等)を揃え、展開する。

世界の食材・アルコールや食材に関連する雑貨で、生活に密着する『食べること、食べる時』をより楽しく、豊かにすることをコンセプトに『食シーン』を演出・提案。また『食シーン』から広がる生活雑貨を幅広く展開し、幅広い客層に応える品揃えとしている。

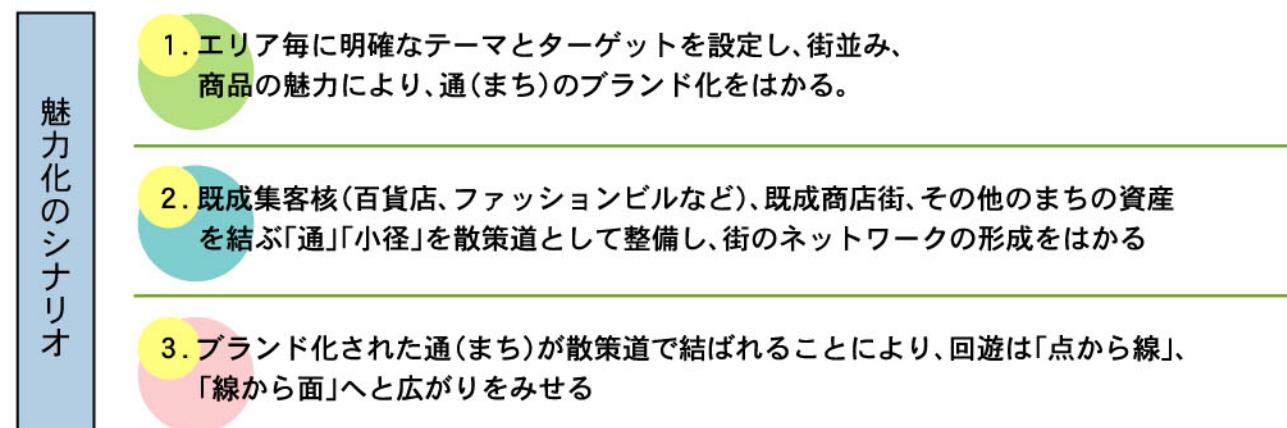
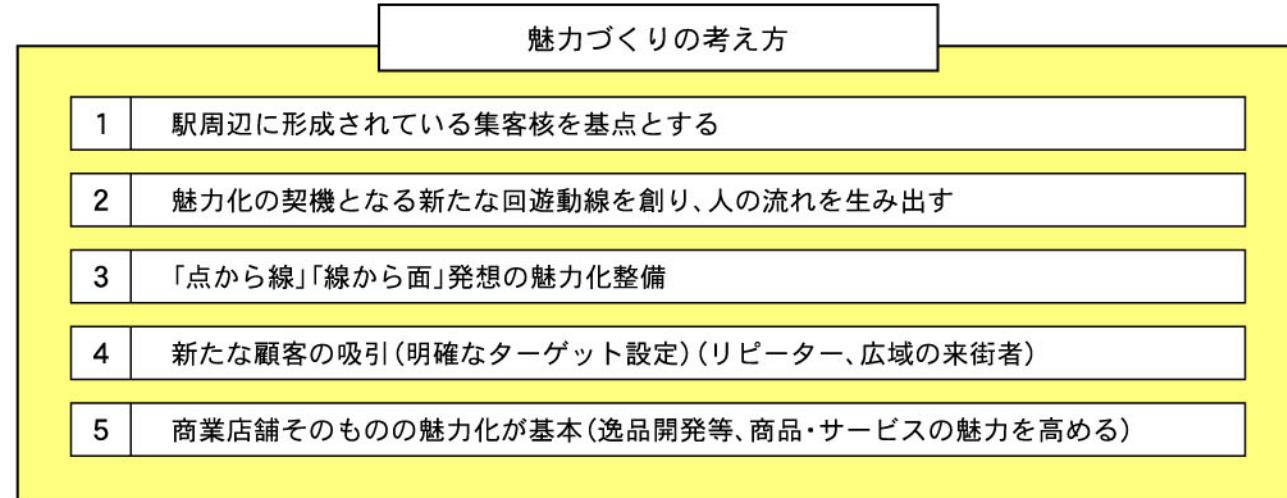
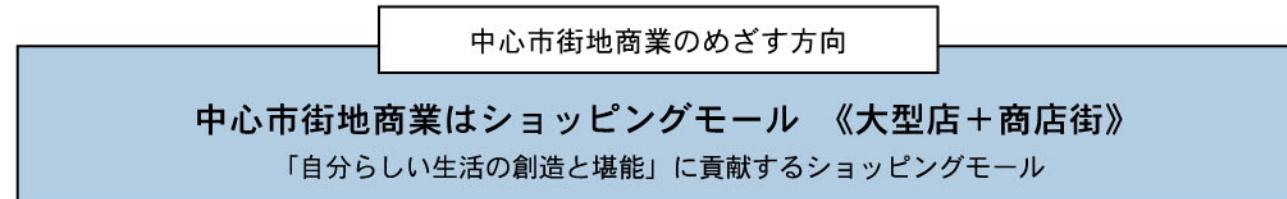
暮らしに喜びを感じることのできる「モノ」と軽やかで明るい生活を楽しむためのアイデアを常に提供し、季節や月日の移り変わりを細やかな気配りで感じる生活スタイルを提案。また、気軽にギフトからフォーマルギフトまでお客様のニーズに合わせた多種多様なギフト提案を展開する。

商業機能等配置実行計画(テナントミックス)

豊田市

豊田市は平成17年度に策定した商業機能等配置実行計画について、平成18年度、見直しを行った。

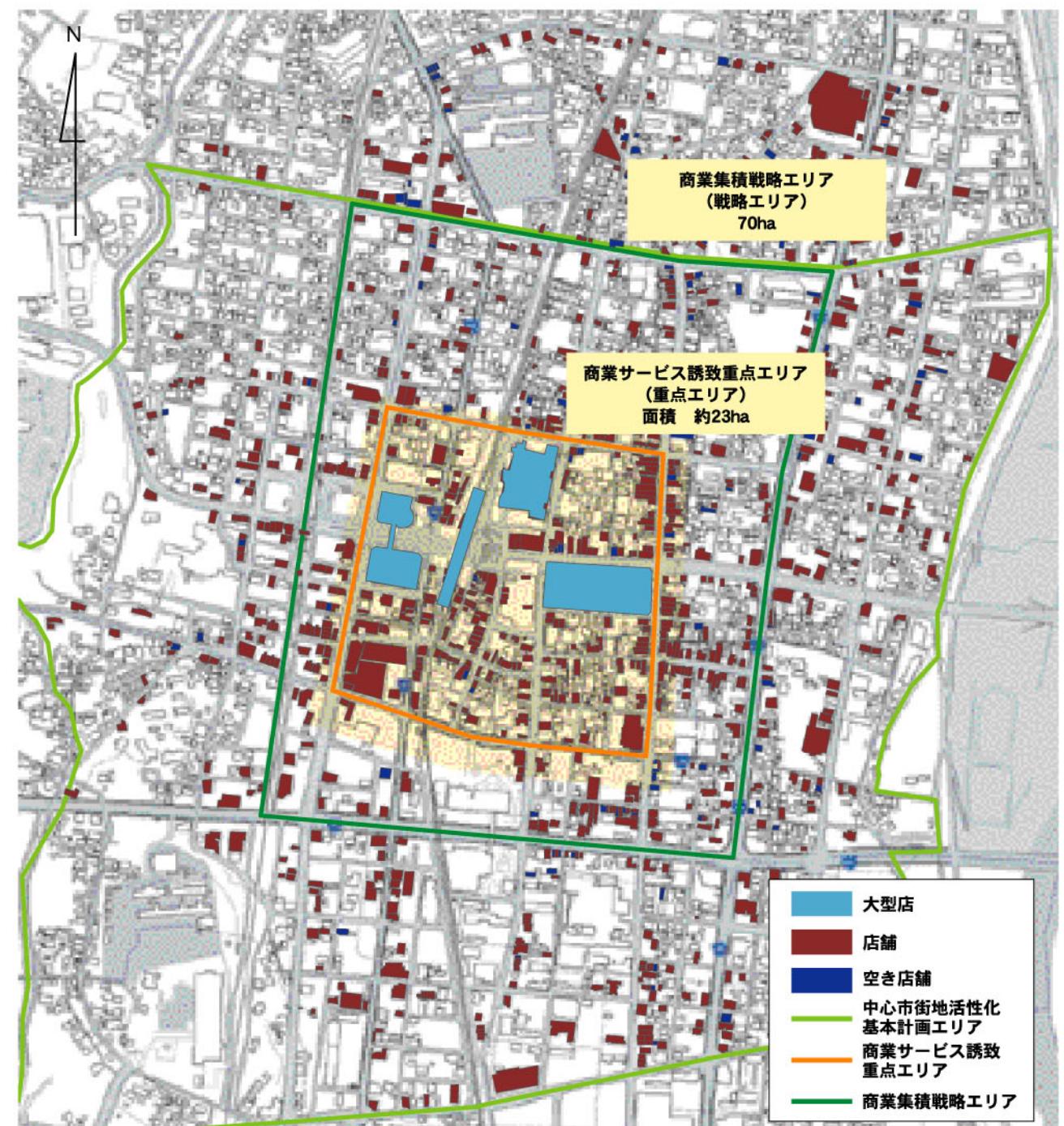
<目的>商業等の魅力化に向け、必要な業態や業種の誘致・店舗配置を図る。



■商業活性化エリア

商業サービス誘致重点エリア(重点エリア)
集客核を含む、回遊可能な範囲(直線距離500m以下/面積23ha)を商業サービス誘致重点エリアとして設定する。まずは、この重点エリアを最優先に「面」として構築し、外への広がり、波及を目指す。広域からの来街目的と成り得る「商業の顔」をつくる。

商業集積戦略エリア(戦略エリア)
地域密着の商業地を目指す。市民のより高質なライフスタイルを支える商業集積地の形成を目指す。(面積70ha)



中心市街地ショッピングモール化推進事業

④ 中心市街地ショッピングモール化推進事業とは

豊田市中心市街地活性化の商業集客核として、また当エリアにおける各業態としての役割の達成状況を相互に確認し、異業態間の相乗効果～回遊性等を考慮した改善案の策定と、実現の方策を探る会議体である。既存大型店を有機的に連動させ、一つの大型ショッピングモールなみの回遊性・楽しさを創出し、より一層の集客を図ることを目的とする。

また、今後の中心市街地開発者に対し、情報の提供と、まちに必要とされる機能・業態を研究会として提案も行う。中心市街地活性化の一役を担い、エリアの商業集客を向上させる。

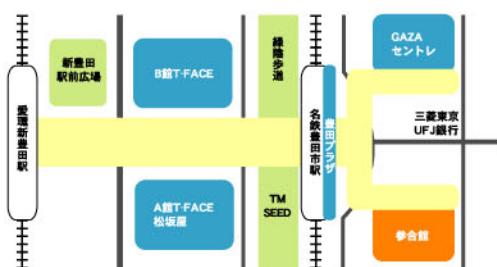
当エリアにおける各業態(百貨店、SM、専門店街等)および総合力として持ち得るパワーを検証し、現状の消費流出、店舗間MDバランス等々悪さ加減を認識し、不備・欠落部分を改善する。

出席メンバー連帯による相乗効果を最大限発揮するための方策までを検討し、実施する。

- ①郊外型SC等競合店とのパワーバランスとその原因把握より、展開の方向性を探る。
- ②名古屋流出を食い止めるMDの可能性とMDプランを探る。
- ③各店の課題の改善(各店間の相乗効果発揮を踏まえ)を図る。
- ④大型店回遊・買い回り促進の仕組み(⇒ソフト面、ハード面)を検討する。
- ⑤上記をふまえ、各自リニューアルへの取り入れをする。

⑤ 参加商業施設

商業施設名	業種
松坂屋豊田店	百貨店
GAZA	専門店街
メグリアセントレ	S M
名鉄豊田プラザ	駅高架下専門店街
T-FACE	専門店街



⑥ 第1期3ヵ年(平成17年度～平成19年度)研究会活動内容

平成17年度「大型店テナントミックス研究会発足」

平成18年度「各大型店の方向性の確認、MDモデルプラン作成」

平成19年度「今後の推進プランの作成」

- ・各大型店の現状把握と郊外SCの分析
- ・大型店の役割を共通認識
- ・マーケット把握からのMDプランの作成
- ・市民ニーズの高い不足業態・業種の把握

テナントミックス実施事例
松坂屋/2階3階インポートブランド
5階メンズブランド 等の導入
T-FACE/レストランゾーンのリニューアルオープン

⑦ 第2期3ヵ年(平成20年度～平成22年度)のH20年度活動実績

平成20年度「大型店をつなぎ、ショッピングモール化へ」

平成21年度「回遊モデルルートの作成」

- ・5年後をイメージした各社MDプランの更新、実施および共通認識
- ・回遊性・魅力向上にむけたペデストリアンデッキでのBGM放送開始
- ・回遊モデルルートの作成と現状のルート内の不具合個所の確認



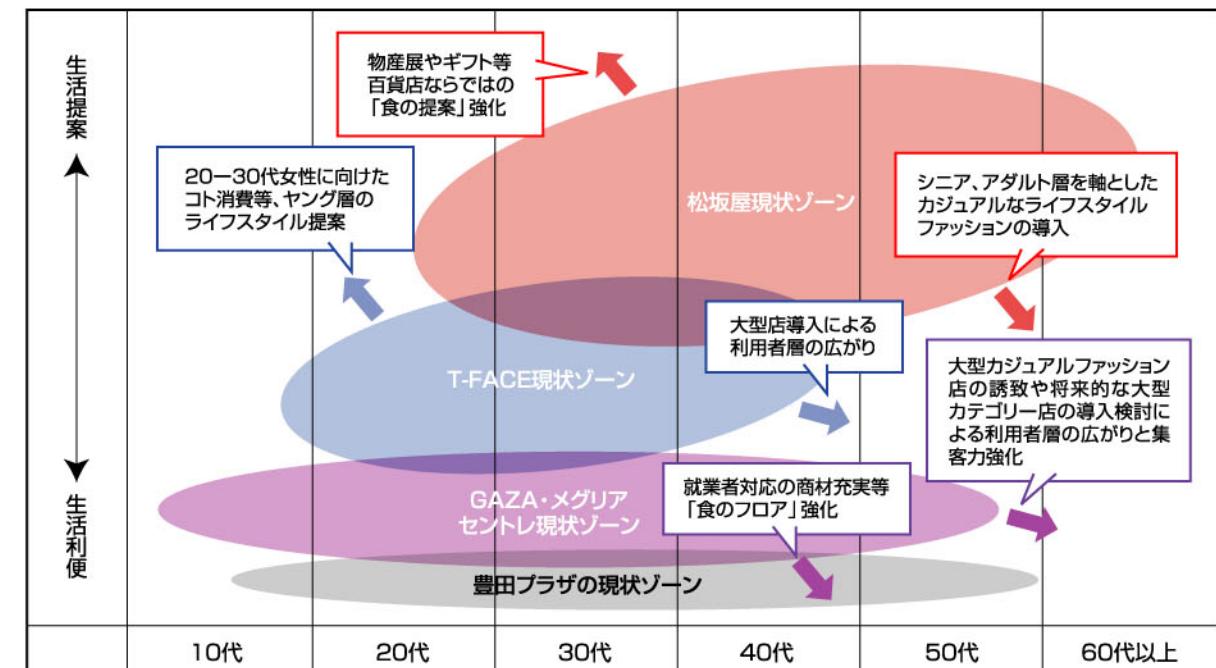
テナントミックス実施事例
松坂屋/2階インポートレディスブランド
6階子ども服ブランド 等の導入
T-FACE/レディス((株)ワールド)オープン
セントレ/大型ファッション店舗オープン

平成22年度の活動内容

① 各社MDプラン実現に向けた取組み

- ・定例会開催による情報共有、意見交換
- ・各社MDの実現に向けた、担当者レベルのリーシング情報交換会の開催
- ・プランに向けた各社社内調整およびテナント誘致

参考資料:各商業施設のマトリックス・方向性



② 回遊策・魅力づくりの検討と実施

・回遊性・魅力づくりの考え方

Key Word

1. 動脈となるペデストリアンデッキとグランドフロアの居心地やすさづくり
2. 来街者を受け入れる大型店のおもてなし体制の良質化

・豊田市駅東西の回遊性向上策の実施

H21年度作成した推奨ルート案をもとに来街者、利用者へのアンケートをとり、推奨ルート案の実用性、安全性、便利性等を検証する。

・モデルルート案の確定と市への提案

アンケート実施により見直されたモデルルート案を市に提出し、中心市街地活性化基本計画とのすり合わせを図る。

・不具合個所の見直し、修正

各施設のわかりにくさ、安心安全性にかかる個所の改善を、各商業施設に依頼し改善スケジュールを決定する。

・共同放送の有効活用

一般公募し、子どもの声による「パパ応援メッセージ」(いってらっしゃい、おかげで、がんばってね等)のメッセージ放送を実施する。
市民参加と年間行事(父の日、母の日等)を組み合わせ、市民への周知も向上させる。

・回遊を促す共同販促の検討、実施

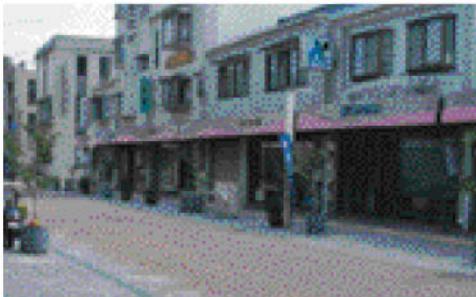
商店街活性化事業

豊田まちづくり(株)は商店街事業に対して全面的なバックアップ体制を築いている。
また、必要に応じて、官・民のスムーズな連携をサポートする。

■桜町本通り商店街振興組合

商店街環境整備による商店街らしい街並み、歩きたくなる街並みの形成

平成17年度、商店街統一の外壁装飾、突出し看板、バナーの設置を実施した。
合わせて、豊田市が道路のバリアフリー整備を実施した。



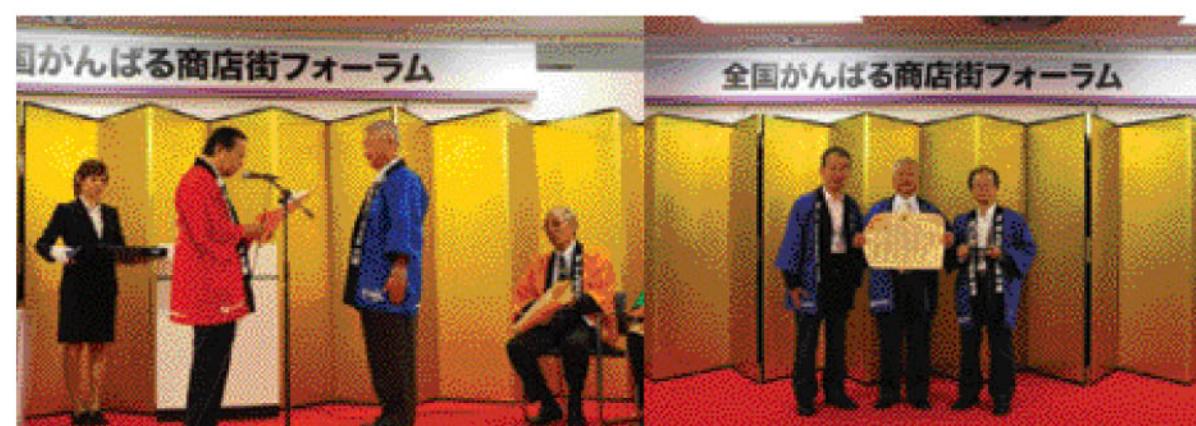
毎月8日は『八日朝市』を開催。お客様と店の交流、賑わいづくり

- ・地産地消にこだわった朝市の開催。
- ・交流イベントとして歌声ホール、どんどん屋の練り歩きを実施。
- ・ワゴンセールなど店先で売り出しを実施。
- ・お客様へのおもてなしとして、お菓子のふるまいやベンチの設置を行っている。



平成21年度『新・がんばる商店街』認定／経済産業省・中小企業庁

地域の住民に役立ち、地域の魅力を発信する、「商店街ならでは」の取組を通じ活性化を図る全国77商店街を経済産業省・中小企業庁が選定するものである。「八日朝市」による賑わい創出、景観整備等により来街者にやさしい「歩いて楽しい」街づくりが選定のポイントとなった。



■西町商店街協同組合

とよた西町はしご酒の開催

居酒屋など夜間営業の飲食店が約5割を占める商店街の特徴を活かした飲み歩きイベントを開催し、中心市街地の話題づくり、賑わいづくりに貢献した。



明かり事業の実施

足助地区の「たんころりん」のような竹細工の行灯(あんどん)とゆれる灯火で街中に情緒ある風景を演出した。



■一番街商店街振興組合 ■ひまわり通り商店街振興組合

商店街活性化計画を策定

一番街商店街活性化計画

一番街商店街活性化のコンセプト

変わらない信頼。変わっていくストーリー。

一番街商店街活3ヶ年の目標

1. いつ来ても居心地の良いまち空間、お店・サービスを提供する商店街となる
2. 高質なライフスタイルを提案し「一番街商店街」ファンを創る
3. 竹生線道路リニューアルを契機に商店街の存在を特徴づける街並みを創る
4. 建物(特に1階)の店舗化を維持・推進する



ひまわり通り商店街活性化計画

ひまわり通り商店街活性化の基本方針

人に愛される安全安心な専門店街を目指します。

店主ひとり、ひとりが専門性を身につけ、“何でも気軽に相談できる豊田市の老舗商店街”であることをアピールします。孫、子どもの代まで信頼いただける商品の取り扱いや接客に努めます。来街者が快適と思う空間演出を心掛け“安全安心なまち”であることをアピールします。地域内の歴史的価値のある淨久寺や毘沙門天、商店街名の「ひまわり」を活用し、親しみやすさをアピールします。



チャレンジショップ TM SEED

新しい創業者の発掘・支援

② チャレンジショップとは

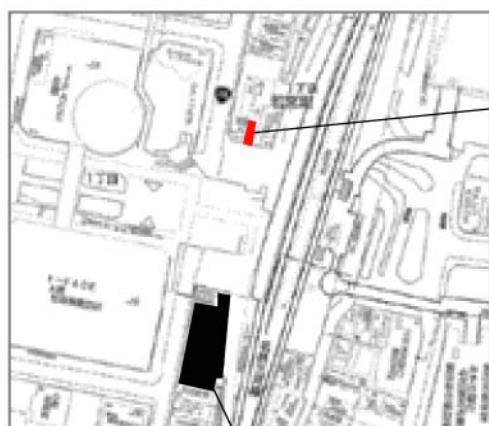
「いつか自分の店を持ちたい！」という意欲ある“将来の商売人”に、商売に適した環境の店舗を貸し、一緒に商売のノウハウを積んで行こうというショップ形態。これまでにない個性的な店舗の育成と、豊田市商業の活性化を狙う。



③ 概要

	旧チャレンジショップ	新チャレンジショップ
名称	チャレンジショップ「TM SEED」 「T」=とよた 「M」=まちづくり 「SEED」=種	
場所	豊田市西町(豊田市駅西口広場)	豊田市若宮町(名鉄豊田駅西口)
事業開始	平成14年11月	平成21年11月
補助金名	空き区画等活用事業	商業まちづくり推進事業
補助金額	15,576千円(国庫補助金・市費補助金 各1/2)	7,025千円(市費補助金)
店舗形式	改造コンテナ3台設置 コンテナ一台を最大4店舗に区割り	空き店舗を改装 最大3店舗に区画割り
区画坪数	約1.9坪	約2.4~2.7坪
出店条件	販売業及びサービス業(飲食業は除く) 独立欲の高いチャレンジャー 取扱商品にこだわりを持っている店舗 豊田市に今までなかった商品展開を持つ店舗	

〈平成21年11月、コンテナ形式から、中心市街地空店舗に移転〉



旧チャレンジショップ



(新チャレンジショップ店舗の様子)



④ チャレンジャー育成支援

【サポート内容】

1. 商売に適した環境の店舗の貸出(1区画) 家賃20,000円、水道光熱費10,000円、共益費10,000円
2. 専門講師・豊田まちづくり(株)による店舗運営(店づくり、接客、顧客管理)に関する基本指導
3. 豊田商工会議所による簿記・確定申告指導
4. 共同販促(装飾やイベント、雑誌掲載などの広告宣伝等)
5. 出店者のコンサルティング・相談



【独立サポート】

1. 独立希望店舗のコンサルティング・相談
2. 中小企業センター経営指導員への相談
3. 融資相談・補助
4. 独立先物件探しサポート
5. 独立支援補助金(豊田市)申請
(補助内容:開店時の店舗改装費50%、3年間の家賃50%(上限あり))

【研修カリキュラム】



⑤ 事業実績ならびに独立店舗 平成22年5月現在

期間	旧チャレンジショップ	新チャレンジショップ	事業開始からの合計
	平成14年11～平成21年7月	平成21年11月～	平成14年11月～
出店店舗数	33店舗	3店舗	36店舗
独立店舗数	9店舗	—	9店舗

【現在中心市街地で営業中の独立店舗】



店舗名: MOTHER EARTH
取扱商品: 古着
開業日: 平成16年5月26日(水)
住所: 豊田市西町1丁目



店舗名: 自転車修理工房こんどう
取扱商品: 自転車修理、自転車部品販売
開業日: 平成18年12月16日(土)
住所: 豊田市西町1丁目

まちなか宣伝会議

まちが本気で動きだす。力を合わせて動きだす

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

設立の経緯と目的

豊田市中心市街地において事業を展開する商業施設・商店街・集客施設・行政関係者が、毎月1回意見交換・情報交換をするための任意会議体としてH15.8月設立。各企業・団体の販促・宣伝担当を構成メンバーとし、官民一体となった共同事業を展開している。

＜目的＞ ①中心市街地への来街促進を図る。

- ②中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信・提言する。
- ③中心市街地イベント事業への提言・連携的取組みを模索する。

主な内容

□3ヶ月単位を目処とした、構成メンバー各位の事業スケジュールの情報交換・情報共有

□共同事業の企画・実行(集客事業・情報発信事業等)

□構成メンバー各位の持ち寄り事項の協議・策定



構成メンバー(H22年4月1日現在)

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋豊田店/T-FACE会/トヨタ生活協同組合/豊田市駅東開発株式会社/カシマゴビルディング株式会社/株式会社豊田スタジアム/トヨタ自動車株式会社/名鉄トヨタホテル/ひまわりネットワーク株式会社/協同組合豊田市商店街連盟/豊田市美術館/豊田市コンサートホール・能楽堂/豊田商工会議所/豊田市近代の産業とくらし発見館/豊田市駅前通り南開発株式会社/株式会社ホテル豊田キャッスル/株式会社ハクヨプロデュースシステム/トヨタすまいるライフ株式会社/財団法人 豊田市体育協会/豊田産業文化センター/財団法人 豊田市国際交流協会/あいち豊田農業協同組合/豊田市(オブザーバー)/事務局:豊田まちづくり株式会社 地域事業部

活動実績

□まちなかトピックス(H15.10~)

共通フォーマットの広告モデル作成→構成メンバー発行の印刷媒体へ相互掲載

□グルメクーポン(H15.11~)

集客施設の催事期間中に飲食店のサービスクーポンを配布

□とよたまちパワーフェスタ(H16.3~)

中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客イベント ※毎年、春・秋に開催

□まちなかWEB(H17.9~)<http://www.toyota-machinaka.com/>

中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信するホームページ(商品・催事の情報発信)

□まちなか情報誌(H17.9~)

まちパワーフェスタ開催に併せ、既存の地元情報誌へフェア・セール・トピックスの掲載、オリジナル情報誌の発行

□まちなかイメージアップ・CI活動(H19.12~)

中心市街地のイメージアップの為、啓発ポスターの作成

□とよた元気プロジェクト「WE LOVE とよた」への参画(H21.3~)

まちパワーフェスタ同時開催(地産地消キャンペーンイベント「オールとよたまちなか商ルーム」の実施)

□まちなか宣伝ナビ(H21.4~)<http://www.toyota-machi.com>

まちなかWEB携帯版 ※みちナビとよた「おいでんバス」バス停2次元バーコードと連動

□事業費(平成21年度) 23,856千円(うち豊田市商業活性化推進交付金 16,500千円)

平成21年度の主な活動

□とよたまちパワーフェスタ2009秋の開催
開催日:平成21年10月3日(土)・4日(日)



□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2009秋

□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2009秋



□とよたまちパワーフェスタ2010春の開催
開催日:平成21年3月20日(土)・21日(日)・22日(月祝)



□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2010春



□ホームページによる情報発信

まちなかWEB
www.toyota-machinaka.com



まちなか宣伝ナビ※
<http://toyota-machi.com>



※みちナビとよたバス停2次元バーコードと相互リンク

まちなか宣伝会議

とよたまちなかガイドブック2009秋





集客プロモーション事業

人で賑わう、出会い交遊の場となるために

主な周年イベント・お祭りカレンダー(●主催、主催メンバー事業／○受託事業)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
洞泉寺 楽市楽座●	ふれ愛フェスタ○	まちパワーmini●※新規	豊田おいでんまつり○	まちパワーmini●※新規 交通安全フェア○		トヨタロックフェスティバル● まちパワーフェスタ秋●	拳母まつり	クラシックカーミーティング	まちパワーmini●※新規	まちパワーmini●※新規	まちパワーフェスタ春●

平成21年度の主な実施(主催・受託)イベント

□マイタウンおいでんin豊スタ2009
平成21年6月27日(土)

□交通安全フェア2009
平成21年8月15日(土)~16日(日)

□とよた産業フェスタ2009
平成21年9月26日(土)~27日(日)

□足助商店街スタンプラリー、あすけ町並みおもしろツアー
平成21年10月25日(日)~11月30日(月)

A collage of images showing the 'Assuke Town & Street Stamp Rally' event. It includes a large banner for the rally, people at a stall, and a view of the town street.

□三河上郷駅前・緑野の会イルミネーション
平成21年11月21日(土)～平成22年2月28日(日)

□三河上郷駅前・緑野の会イルミネーション 平成21年11月21日(土)～平成22年2月28日(日)

□イルミネーションストーリーinとよた2009
平成21年11月21日(土)~平成22年1月8日(金)

A collage of three photographs showing large, brightly lit Christmas trees in Tokyo at night. The trees are illuminated with various colors (white, blue, green) and are surrounded by city lights and buildings.

□とよたビジネスフェア2009
平成21年12月17日(木)~18日(金)

□第41回 豊田おいでんまつり 踊りファイナル 平成21年7月25日(土)、花火大会 平成21年7月26日(日)

The collage consists of nine photographs. The top-left photo is a festival poster for 'OIDEN' featuring a woman in a vest and a large red circle containing the text 'WE LOVE よいだ'. The other eight photos show: 1) A group of people in blue shirts gathered outdoors; 2) A crowd of spectators watching a performance; 3) A night view of a stage with performers and a large 'OIDEN' sign; 4) A night sky filled with fireworks; 5) A group of people standing under a white tent; 6) A person in a costume performing on stage; 7) A night view of a stage with performers; 8) A night sky filled with fireworks.

屋外回転広告(AIRS)

④ 事業概要

概 要	多くの通行者が行き交うペデストリアンデッキ上で、目を引く効果的な広告掲出により、情報提供や賑わい創出等中心市街地の活性化事業として展開する。
特 徴	シートが回転し、人目をひきつけインパクトのある広告 最大6シートの広告掲載、広告スペースの有効活用と大量の情報提供が可能 インクジェット出力のスピーディで美しい画面品質
仕 様	広告サイズ H1900×W3800 広告掲出数 最大6シート(約20秒で1シート回転)
稼 働 時 間	毎日 7:00~23:00
事 業 開 始	平成17年8月1日(月)
設 置 場 所	B館T-FACE 2F南壁面(ペデストリアンデッキ側)



⑤ 参考資料

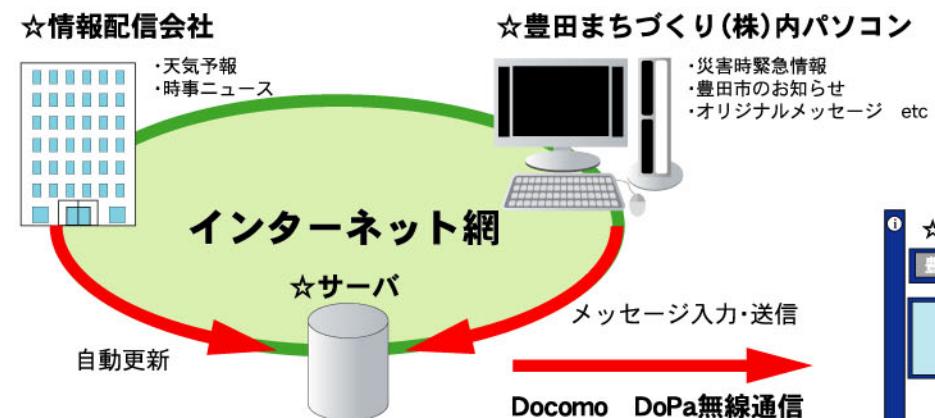
■周辺の一日あたりの通行量・平均乗降客数	
ペデストリアンデッキ (豊田市駅西口)	平日 19,795人
	※歩行者通行量自動計測装置による平成21年度の 一日平均(5時から24時まで)の通行量
豊田市駅(名古屋鉄道)	平均 29,157人
新豊田駅(愛知環状鉄道)	平均 12,070人

豊田市総合案内板情報表示装置

④ 豊田市総合案内板情報表示装置とは?

中心市街地に6箇所設置された総合案内板上部にあるLED文字情報表示装置。
平成20年1月から、市道浄水駅歩行者道線地下通路内(名鉄浄水駅から豊田厚生病院間)に2台設置。

システム概要図



④ 事業概要

事 業 名	豊田市中心市街地総合案内板情報表示装置管理業務(受託業務)
受 託 先	豊田市産業部商業観光課
内 容	LED文字情報表示装置を使い、来街者や歩行者へ各種の情報提供を図る。
業 務 期 間	平成22年4月1日~平成23年3月31日(平成17年度より継続)
運 用 時 間	6:00~23:00
業 務 内 容	公共情報や時事ニュースの他、まちなかイベントなどのオリジナル情報の収集と受付をし、来街者に対して発信する。 (1)オリジナルメッセージの情報収集・受付業務 (2)オリジナルメッセージのスケジュール管理と入力送信業務 (3)装置の動作確認と簡易清掃

おもてなし(環境整備)事業 とは…

豊田市を訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と思っていただけるようなまちにするため、地域の住民や企業、行政、豊田まちづくりが一体となって各種の「おもてなし事業」を展開。

豊田オンリーの“飲むならパーキング”、便利で楽しい“共同利用カードやレンタサイクル”、ボランティアが真心を込めてキレイにする“まちなかクリーンアップ”活動などを実施。

おもてなし(環境整備)事業の充実 フリーパーキング事業 中心市街地の駐車サービスの一元管理

導入の背景

「駐車料金が高い！」、「どの駐車場に停めたらいいかわからない！」「駐車場がない！」など、中心市街地駐車場に対するお客様からの課題が山積みの中、まちを構成する商店や大型店・事業所や公共施設など、それらを利用するお客様に向け、中心市街地の駐車場を3時間無料とすることで駐車場課題の解決の第一歩を踏み出したいと考え、開始した。

システム導入は国と豊田市の補助を受けて整備を行い、運営はすべての加盟店が利用料金を負担し合いシステムを支えている。

事業概要

目的 中心市街地への来街促進と駐車場利用者の利便性向上

事業開始 平成15年4月1日

事業内容 ①中心部の加盟駐車場のシステム統一と加盟店利用(買い物等)による利用者への駐車料金3時間無料サービスの提供

②加盟駐車場、加盟店(店舗・施設)の利用状況等の各種情報の一元管理と駐車場からみた中心市街地活性化策への活用

補助金 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」 13,757千円
豊田市 「豊田市中小企業団体等事業費補助金」 68,769千円
※いずれもシステム導入事業費としての補助金



事業の仕組み

利用者(お客様)

買い物または利用した加盟店(店舗・施設)で駐車券に3時間無料サービスの認証を受け、駐車場を利用(超過分は利用者負担)

加盟店

豊田まちづくり(株)と駐車場利用契約を締結、豊田まちづくり(株)は各駐車場事業主に借用料(借上げ料)の支払い

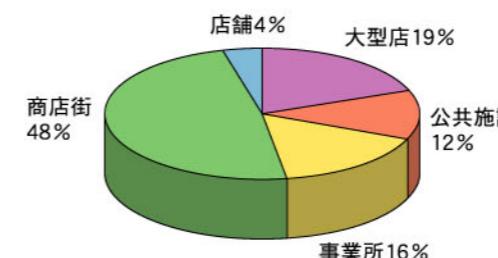
加盟店(店舗・施設)

加盟手続き後、豊田まちづくり(株)へシステム利用料の支払いと利用者へ3時間無料サービスの提供



加盟店加入状況(平成22年3月31日現在)

【認証ライター配付状況】



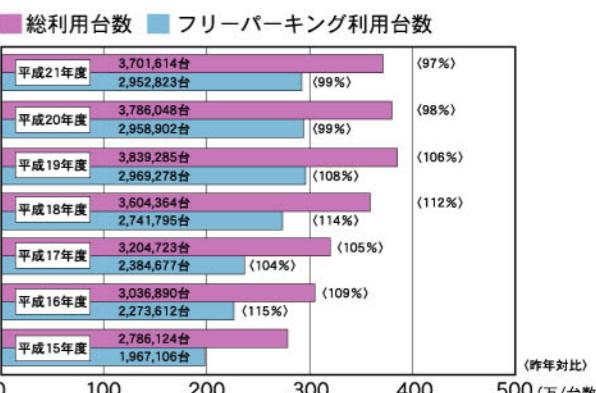
【加盟店加入状況の推移】

加盟店分類	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
大型店	99	103	104	113	122	122	135
公共施設	43	45	80	87	89	86	86
事業所	118	129	123	143	120	119	112
商店街	187	192	228	254	294	311	337
店舗	39	42	36	33	30	30	26
合計	486	511	571	630	655	668	696

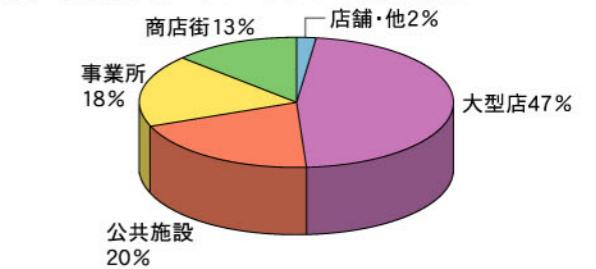
※事業開始から2年間の普及期間を経て、平成17年4月より各加盟店の利用に応じた料金とした。加盟店に負担が大きくならないよう料金割引率を商店街加盟店舗は高く設定した結果、商店会加盟店舗が大幅に増加した。

加盟店駐車場利用実績(年間累計)

【総利用台数とフリーパーキング利用台数】



【加盟店別フリーパーキング利用内訳】



加盟店駐車場

フリーパーキング 加盟店駐車場MAP



加盟店駐車場16ヶ所 合計4,132台収容

- ①産業文化センター駐車場(市) 280台収容 8:00~22:00
- ②新豊田駅西駐車場(市) 43台収容 24時間営業
- ③第2駐車場(豊田まちづくり(株)) 109台収容 7:00~23:00
- ④若宮駐車場(豊田まちづくり(株)) 485台収容 7:00~23:00
- ⑤新豊田駅地下駐車場(県公社) 170台収容 6:00~23:40
- ⑥TM若宮パーキング(豊田まちづくり(株)) 412台収容 24時間営業
- ⑦ヴィッツ駐車場(民間) 685台収容 24時間営業
- ⑧第1駐車場(豊田まちづくり(株)) 314台収容 6:30~25:00
- ⑨昭和町駐車場(豊田まちづくり(株)) 221台収容 7:00~23:00
- ⑩ギャザパーキング(市公社) 225台収容 24時間営業
- ⑪喜多町駐車場(市公社) 524台収容 24時間営業
- ⑫豊田参合館駐車場(市公社) 111台収容 24時間営業
- ⑬コモパーキング(市公社) 250台収容 24時間営業
- ⑭西町丸太パーキング(民間) 172台収容 24時間営業
- ⑮元城駐車場(市) 100台収容 8:00~22:00
- ⑯児ノ口駐車場(市) 31台収容 8:00~22:00



駐車場事業

事業概要

目的 中心市街地への来街者の利便性を高めるとともに、ペデストリアンデッキ等との連結によりまちなかを回遊しやすい環境を整え、集客力を高める。また、中心部に位置し、24時間利用出来る駐車場であることから、大型商業施設をはじめ、公共施設・公共交通機関・商店・イベント利用時等に際して、これまで以上に各施設へアクセスしやすい環境を整備した。

事業費 1,434,942千円 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」
豊田市 「中小企業団体等事業費補助金」

事業内容 新駐車場建設、連絡通路及びB館2階風除室の新設工事

駐車場概要

開業日 平成16年3月20日(土)

延床面積 13,935.87m²

収容台数 412台

構造 鉄骨造(FR鋼)地上6階建塔屋1階
自走式連続傾床式立体駐車場



ご利用案内

営業時間 24時間営業・年中無休

駐車料金 30分150円(24:00~翌6:00 30分100円)

サービス フリーPARKING加盟駐車場

豊田市共通駐車サービス加盟駐車場

車両制限 車高2.1m・車長5.0m・車幅2.0m未満

利用実績

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
年間総利用台数	10,355台	609,490台	703,909台	745,604台	747,086台	739,105台	741,252台
月あたり利用台数	—	50,791台	58,659台	62,134台	62,257台	61,592台	61,771台
日あたり利用台数	941台	1,670台	1,929台	2,043台	2,041台	2,020台	2,031台
日あたり回転数	2.3回	4.1回	4.7回	5.0回	5.0回	4.9回	4.9回

DSRC活用駐車場事業

事業概要

平成16年度に豊田市が社会実験で使用したDSRCシステムを豊田まちづくり株が借受けし、平成17年6月より事業展開している。

登録車両が駐車場ゲートに近づくと自動でゲートバーが開閉し、フリーパーキング同様に3時間無料サービスを受けられる。

駐車券は不要となるため、精算機への車寄せや、窓から身をのり出す必要もなく体の不自由な方にも優しいサービスとなっている。

※DSRCとは、高速道路のETCで使われる専用狭域通信。

※利用には事前登録が必要(千円/1台・1年)。3時間を超えた駐車料金は、利用者負担となる。



豊田市ITS情報センター「みちナビとよた」 お出かけのお役立ちステーション

事業概要

概要 来る人・住む人の移動に役立つ交通・観光・地域情報を、インターネットなどの通信技術を活用して、快適な交通環境を目指すITSを実際に体験できる施設として、豊田市がTM若宮パーキング1階に開設した。

※ITS(高度道路交通システム)とは、カーナビなどの情報通信技術により人やクルマの移動を支援するシステム



事業主体 豊田市都市整備部交通政策課

施設運営 財団法人豊田都市交通研究所

開所日 平成16年8月30日(月)

開館時間 9:00~19:00

住所連絡先 豊田市若宮町1丁目1番地 TM若宮ビル1階 TEL(0565)36-0105

(PC)<http://michinavitoyota.jp/> (携帯)<http://michinavitoyota.jp/mobile/>



おもてなし(環境整備)事業の充実

多目的広場(シティプラザ)整備事業

市民が集う交流拠点

事業概要

目的 名鉄「豊田市駅」と愛知環状鉄道「新豊田駅」の間に位置するシティプラザを、回遊性を改良し開かれたオープンスペースに改修すると共に、ステージやベンチを設置するなど、各種イベントの開催やオープンカフェとしても利用できる多目的広場として整備した。

事業費 43,980,000円

経済産業省 商業サービス業集積関連施設整備費補助金

豊田市 中小企業団体等事業費補助金

内容 ①ひまわり時計を撤去し、国道155線からのアクセスを改良
②ペデストリアンデッキからの階段を末広がり型へ形状変更
③常設ステージとベンチの設置
④一般照明の設置と、植栽用スポット照明の設置
⑤デザインコンクリート床による整備

竣工 平成16年8月31日(火)



整備前



整備後

事業効果

(1) 中心市街地の交流拠点(催事実績)

平成16年度実施: 16催事 集客: 6,172人

平成17年度実施: 24催事 集客: 9,072人

平成18年度実施: 21催事 集客: 12,400人

平成19年度実施: 12催事 集客: 3,300人

平成20年度実施: 8催事 集客: 1,800人

平成21年度実施: 8催事 集客: 1,800人

(2) 回遊動線の改良と安らぎの空間としての利用増加



ショッピングカート共同利用事業

まちなかの買物を楽しく便利に

事業概要

平成16年度の豊田市社会実験を経て、歩行者の快適な移動支援を継続的に提供するため、他地域にはないオリジナルカートを導入。改良を重ねて、回遊促進、滞留時間の拡大を目指し、中心市街地の活性化を目的に、中心部の大型店が共同事業として展開している。



事業開始 平成17年5月1日

カート台数 オリジナルカート30台(セルシオ号10台、レクサス号10台、ランドクルーザー号10台)ちび丸号10台

利用時間 毎日10:00~21:00

参加企業 松坂屋豊田店(株式会社大丸松坂屋百貨店)

GAZA(豊田市駅東開発株式会社)

メグリアセントレ(トヨタ生活協同組合)

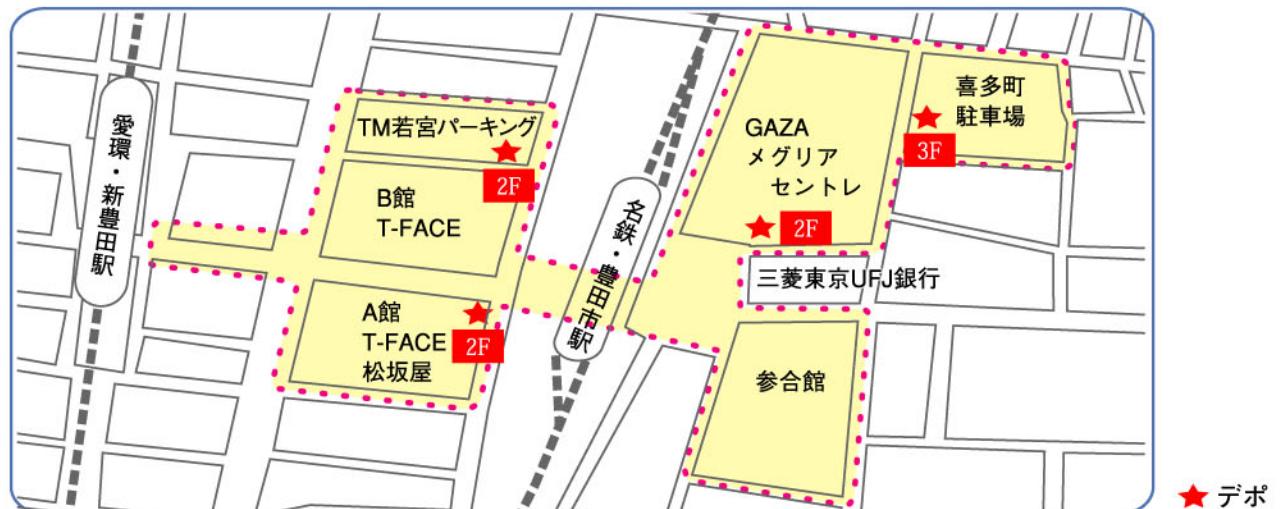
T-FACE(豊田まちづくり株式会社)



管理運営 現行の各施設の管理システムと要員を活かし、カート回収、維持管理を行うことで、効率的な管理を推進。

豊田市商業活性化推進交付金と参加企業による管理費負担にて運営。

事業エリア



有料駐輪場事業

安全・安心・快適な駐輪場をめざして

事業概要

導入経緯 相次ぐ自転車やオートバイの盗難・放置自転車対策として、安心・安全・快適に利用できる駐輪場の整備を検討し、全国的に実績のある「街の駐輪問題を解決するシステム」エコステーション21を導入した。

平成18年4月1日

設置場所 T-FACE・松坂屋豊田店ビルの外周

駐輪場名称 エコステーション21豊田駅西

営業時間 24時間・年中無休

事業内容 エコステーション21の管理・運営者「日本コンピュータ・ダイナミクス(=NCD／本社:東京都品川区)」が駐輪機器等を設置。管理・運営と共に有料駐輪場を事業展開。

設置台数 550台(自転車350台・バイク73台・その他127台)

※長期駐輪車両の対応(撤去)も実施



システム

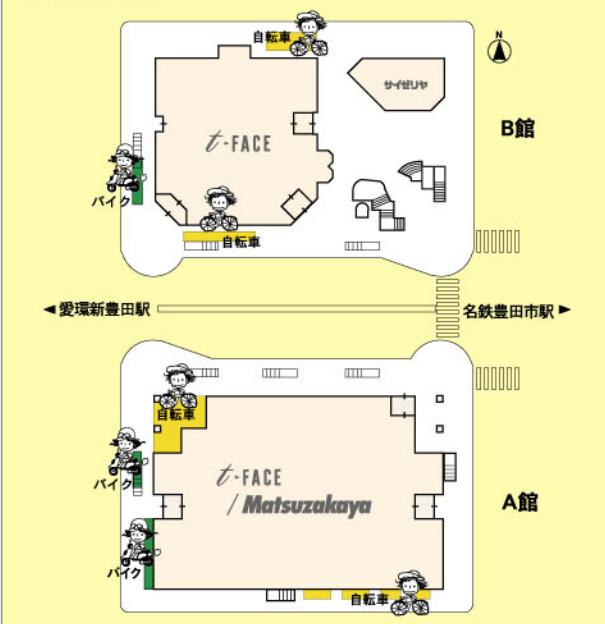
利用方法 T-FACE・松坂屋豊田店の買い物客に限らず、誰でも利用できる駐輪場
最初の3時間は無料。その後12時間ごとに自転車は100円、バイクは200円。

対応 問合せ:サポートセンターで24時間対応
(遠隔操作問合対応)

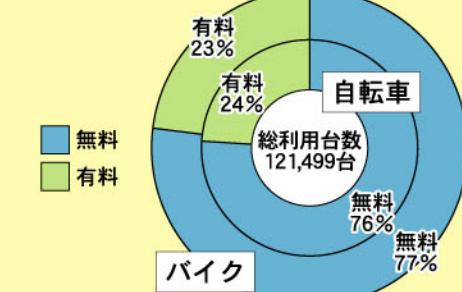
人的対応:現場対応が必要な場合、地元警備会社が現場へ急行。

利用者を待たせることなく全国各地の駐輪場管理・運営を一元管理。

駐輪場図面



平成21年度駐輪場利用実績



	無料	有料	合計(台)
A館	自転車	57,614	17,315
	バイク	9,809	2,702
B館	自転車	22,487	7,775
	バイク	2,814	983
合計	自転車	80,101	25,090
	バイク	12,623	3,685

おもてなし(環境整備)事業の充実

まちなかレンタサイクル事業

豊田のまちを自転車で走ろう

事業経緯

「レンタサイクルの誕生」

平成15年9月6日 ヤンチャタウン実行委員会が「まちなかレンタルサイクル」スタート
貸出拠点:チャレンジショップ自転車修理工房こんどう、若宮駐車場
豊田まちづくり(株)が事業企画をサポート

「レンタサイクルの利用促進」

平成18年8月7日 豊田市社会実験、中心市街地来訪者交通対策モデル事業「自転車共同利用事業」スタート
貸出拠点:名鉄トヨタホテル、みちナビとよた、チャレンジショップ自転車修理工房こんどう
事業企画の参画、管理運営を担当 (利用料金) 軽快車/無料、電動自転車/100円
平成19年3月31日 同社会実験の終了

「レンタサイクルの事業化」

平成19年7月1日 豊田市社会実験の結果が良好であったこと、豊田市から事業継続の要望もあり当社が事業化
貸出拠点:名鉄トヨタホテル、みちナビとよた、駅東(自転車修理工房こんどう)
(利用料金) 軽快車/100円、電動自転車/200円 回数券(11枚綴り)1,000円

事業概要

目的 商店間の買いまわりの推進と商業活性化
中心市街地の移動(観光、仕事、用足しなど)支援による中心市街地活性化
事業主体 豊田まちづくり株式会社
事業協力 みちナビとよた、名鉄トヨタホテル、自転車修理工房こんどう、豊田市
管理委託 株式会社メンテック、自転車修理工房こんどう

自転車貸出しステーション

みちナビとよたステーション

利用時間/9:00~19:00 休業日/年末年始(12月29日~1月3日)

駅東ステーション

利用時間/9:00~19:00 休業日/毎週火曜日

名鉄トヨタホテルステーション

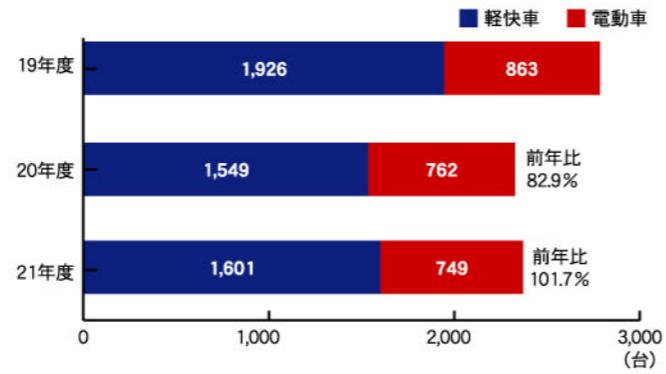
利用時間/9:00~19:00 休業日/年中無休

※貸出は、18:30まで

事業経過



利用状況(平成19.20.21年度)



おもてなし(環境整備)事業の充実

飲むならパーキング事業

飲んだら乗らない、これ大人の常識。

事業経緯

平成15年9月よりT-FACEレストラン街の独自サービスとして「ワンナイトパーキング」を展開していたところ、福岡でおきた市職員飲酒運転による幼児死亡事故をきっかけに、中心部へのサービス拡大を計画し、官民4駐車場へ呼びかけを行い、平成18年12月より実験的な取組みとしてスタートした。



目的

中心市街地に来街し、飲酒したお客様に対し、駐車場事業者が共同で駐車料金の負担を軽減することにより、飲酒運転抑止を目指す。

概要

アルコールを提供する加盟店(飲食店)で飲食した利用者は、名鉄豊田市駅周辺の対象駐車場に翌日正午まで500円で駐車することができる。利用者が飲食後、加盟店の印と日付の入ったチケットを500円で購入し、翌日駐車場管理員に渡して出庫する仕組み。17時から翌日12時まで最大19時間を500円で駐車することが出来る。

事業主体 豊田まちづくり株式会社

事業協力 財団法人豊田市都市整備公社、カシマゴビルディング株式会社、豊田市

対象駐車場(カッコ内は、翌日に出庫できる時間帯)

TM若宮パーキング(7:00~12:00)	VITS駐車場(7:30~12:00)
喜多町駐車場(9:00~12:00)	新豊田駅西駐車場(8:00~12:00)
ギャザパーキング(9:00~12:00)	コモパーキング(9:00~12:00)
参合館駐車場(9:00~12:00)	

チケット料金

500円/1回(利用者負担)

*利用者は加盟店でチケットを500円で購入する。

加盟店

指定区域内でアルコールを提供し飲むならパーキングに加盟の飲食店
(指定区域)若宮町、月見町、小坂本町、西町、喜多町、桜町、昭和町、竹生町



おもてなし(環境整備)事業の充実

まちなかクリーンアップ事業

キレイな街にはキレイな文化が宿る

事業概要

平成14年11月1日に豊田まちづくり株式会社、松坂屋豊田店及び専門店「T-FACE」の有志などを集め、豊田市駅前、新豊田駅前、ペデストリアンデッキ上、バス停・タクシー乗降場所周辺などを集中的に清掃。



事業主体 豊田まちづくり株式会社

事業協力 松坂屋豊田店 株式会社メンテック
T-FACE (平成22年4月現在参加)

実施日 每月第一土曜日(少雨決行)

実施時間 9:00~9:20位まで





豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業

豊田市中心市街地の整備の概要

都市再生整備計画(豊田市駅周辺地区)活動支援

事業名:まちづくり交付金事業(豊田市駅周辺地区)
事業者:豊田市

→ 豊田市の目標「ユニバーサルデザインによる歩行者空間の再構築」

■豊田市まちづくり交付金活用事業が第5回まち交大賞を受賞

平成22年6月、まちづくり交付金情報交流協議会・(財)都市みらい推進機構主催による第5回まち交大賞において、特にモデル性の高い創意工夫のある取組みを実施し、総合的な見地から最も優秀と認められる都市再生整備計画を行った地区に贈られるまち交大賞を全国の中から豊田市が受賞した。

■話し合いで決まったまちのコンセプト

「ハートウォーミングなまち」

全体的に暖かさ・楽しさをテーマにし、歩道としての「道」を楽しく過ごすことのできる「場」へ変えていく。・人と人のふれあい、心の通い合いがある
・歴史や自然にふれることができる
・公園やお店など快適な生活環境を保つ



(都)竹生線 〈工事完了:平成21年3月〉



(市)神明線〈工事完了:平成21年3月〉〈整備区間:昭和町線～都竹生線間〉



桜城址公園 〈工事完了:平成21年3月〉



活動団体

■活動団体:竹生線沿線4自治区まちづくり協議会

東区:竹の子村まちづくり協議会・三区:竹生線沿線街づくり協議会・
二区東部:神明町づくり委員会・
一区:竹生線を活かしたまちづくりを考える会／桜町ほうだら会※順不同・敬



(市)久保川田線(竹生山車藏前の道)
〈工事完了:平成21年3月〉



旧城線(コミュニティ道路)
区間:(都)竹生線～国道153号線
(工事完了:平成21年3月)

■平成21年4月4日(土) 完成記念式典を開催

竹生線沿線4自治区まちづくり協議会主催による完成記念式典が開催されました。式典は、桜が満開の桜城址公園にて行われました。豊田まちづくり(株)は、これまでのまちづくり活動に対し、同協議会より感謝状をいただきました。今後も、当社の社会的役割・責務を理解し、地域社会に貢献できるよう一層努力してまいります。



広域のまちづくり活動

豊田市中心市街地のみならず、広域で活動しています。商店街の計画策定や事業の協力やサポートを行っています。

足助商工会・足助中央商店街協同組合

- 商店街活性化計画策定サポート
- イベント企画、運営協力
- 足助いなり市運営協力

■足助商店街スタンプラリー 平成21年10月25日～11月30日開催

香嵐渓紅葉シーズンに、足助の商店や史跡を回るスタンプラリーを開催。合わせて、豊田市で活躍するお笑い劇団笑劇派と巡る「足助町並みおもしろツアーやを開催」



■中馬なごやか市 毎月第3日曜開催



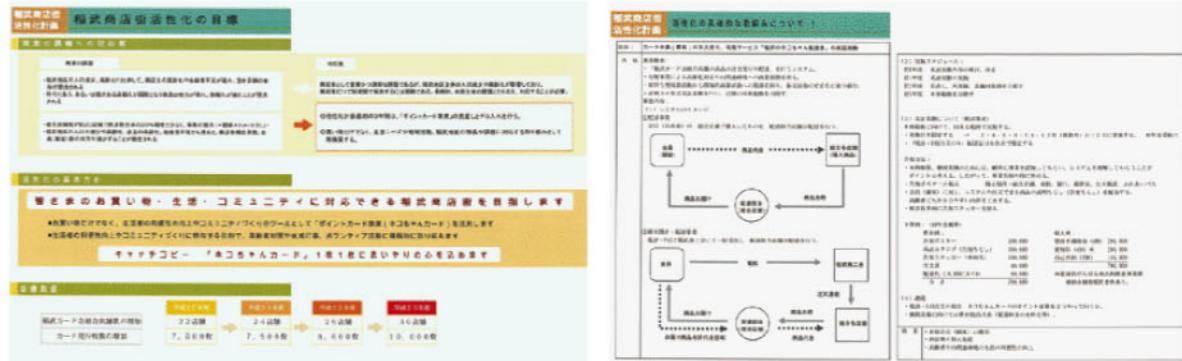
中馬なごやか市開催日の様子

地元農家による朝市

わた菓子、ばん菓子など懐かしいお菓子の販売

⇒ 稲武商工会・稻武カード会

●商店街活性化計画策定サポート



6

⇒ 旭商工会

●商店街活性化計画策定サポート



豊田市のまちづくり

豊田市中心市街地活性化基本計画

1 中心市街地活性化基本計画策定の背景

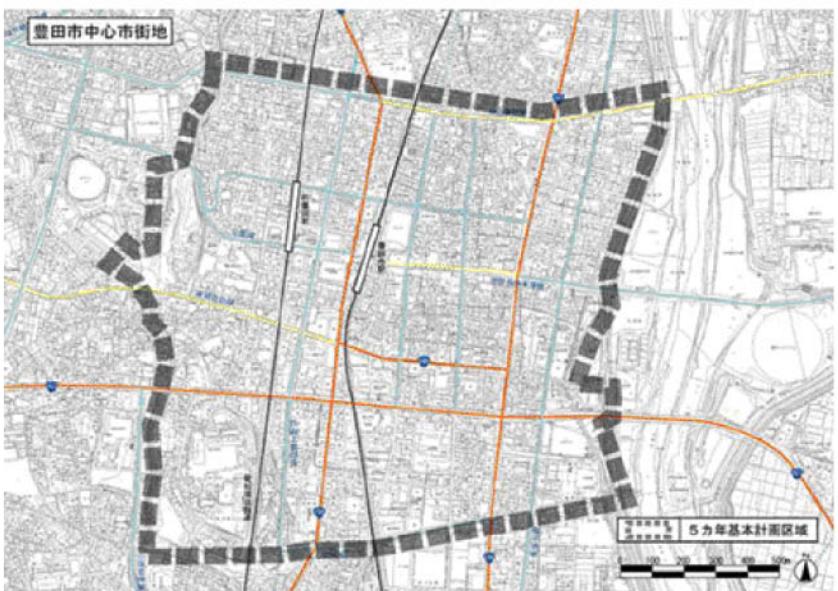
平成18年に「まちづくり三法」の見直しが行われ、「中心市街地の活性化に関する法律」が制定された。本市は、昭和60年策定の「都心総合整備基本計画」や平成12年策定の「豊田市中心市街地活性化基本計画」、平成14年の「豊田市中心市街地緊急活性化基本計画」による中心市街地の活性化を図ってきたが、市外に立地する大型商業施設等による消費の流出や都市の「顔」が求められていることなどから、長期20年のビジョンを見据えた、新たな中心市街地活性化基本計画の策定を行った。

2 計画期間

平成20年7月～平成25年3月（平成20年7月9日内閣総理大臣認定）

3 中心市街地の区域

中心市街地の区域は、旧基本計画の区域をベースにした「196ha」とする。



4 将来像と目標

将来像 「緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造」

目標1 －活力とにぎわいの創出－「活力」

- 1-1 商業・業務機能の立地誘導を図り、中心市街地のにぎわいづくりと昼間人口の増大を目指す
- 1-2 定住化促進支援により「街なか居住」を推進し、夜間人口の増大を目指す
- 1-3 國際性豊かな市民交流の促進や、文化機能の集積を図り、活力ある中心市街地を目指す

目標2 －公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現－「交通」

- 2-1 ITSを活用し、人と車が共存する「かしこい交通社会」の実現により、安全・安心・快適に回遊することができる中心市街地を目指す
- 2-2 交通結節点整備により乗り継ぎのシームレス化を図るとともに、中心市街地へのアクセス性を向上させ公共交通の利用を促進し交通環境を改善する

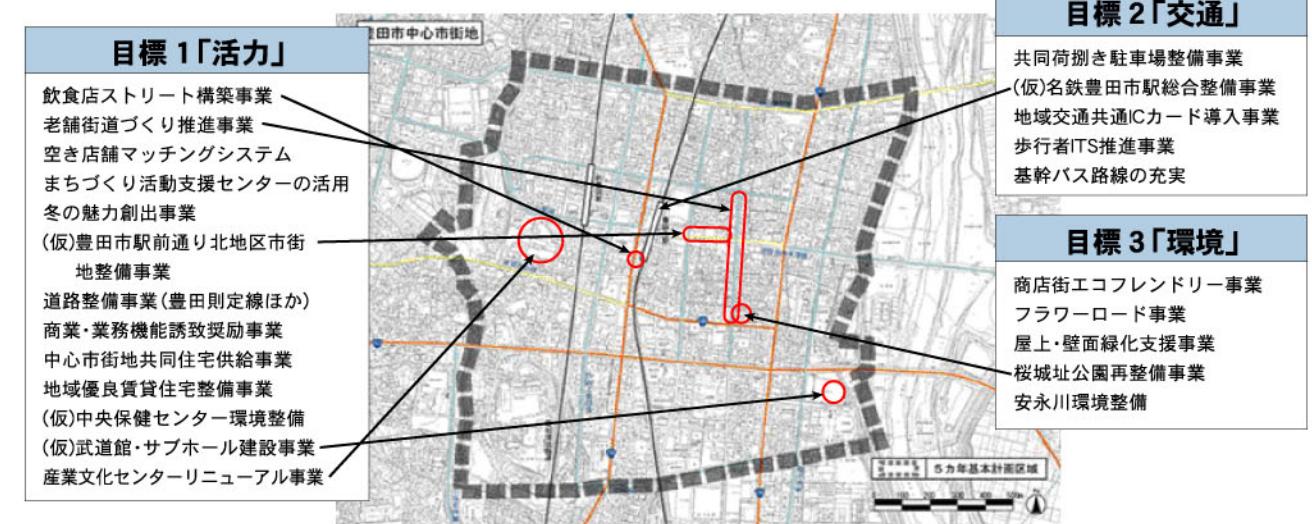
目標3 －環境に配慮したまちづくりの実践－「環境」

- 3-1 景観に優れ、先進的な環境負荷低減モデルとなる中心市街地を目指す
- 3-2 水と緑のネットワークを創り、人々が自然に親しみながら憩える中心市街地を目指す

5 主な活性化事業

本基本計画においては、5年間で70事業を実施・着手する。

以下、主な事業を記載する。



6 目標達成の把握

本基本計画で掲げる、平成24年度の数値目標は以下の通りである。

各数値目標については、毎年度達成状況の確認をするとともに、状況により目標達成に向けた必要な措置を講じることとする。

目標指標(H 24)			
①歩行者通行量	平日	25,788人	⇒ 30,500人
	休日	20,428人	⇒ 25,000人
②中心市街地居住人口		11,542人	⇒ 12,700人
③中心市街地従業者数		15,585人	⇒ 16,600人
④商業核(大型店)年間売上高		20,600百万円	⇒ 25,000百万円
⑤フリーパーキング年間認証台数		274万台	⇒ 330万台
⑥鉄道駅乗降客数		36,827人/日	⇒ 45,300人/日
⑦バス乗降客数		4,882人/日	⇒ 7,300人/日
⑧緑被面積		-	⇒ +2,500m ²
⑨年間CO ₂ 削減量		-	⇒ 2,000t

7 中心市街地活性化の推進体制

平成18年10月に豊田商工会議所、豊田まちづくり(株)を中心とした「豊田市中心市街地活性化協議会」（以下「協議会」）が設立されている。協議会は、より多くの市民がまちづくりに参加することを目指し、まちの発展に寄与することを目標とし活動している。また、本基本計画の実効性を高めるため、平成20年4月1日に協議会の実務担当者による「豊田シティセンターマネジメント(TCCM)」を設立し、各事業主体への支援や事業のマネジメント等を行っている。

行政においても「豊田市中心市街地活性化基本計画推進委員会」並びに「プロジェクトチーム」を設立しており、官民連携した取り組みによる中心市街地の活性化を図るものである。

ハイブリッド・シティとよた

環境モデル都市とは

豊田市は平成21年1月23日、東海地方で唯一『環境モデル都市』として国から選定された。これを機に、厳しい経済状況の中、「環境」を経済再建の鍵として元気なまちづくりを市民の皆さんとともに進めていく。

環境モデル都市とは、世界の先例となる低炭素社会(※)への転換を進め、国際社会を先導していくという方針に基づき、温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市として国から選定された都市。また、取組の実施に当たり、国から財政的支援などが優先的かつ重点的に受けられることがある。

(※)低炭素社会／温室効果ガス排出量を大幅に削減し、地球温

暖化の危機から脱却した社会

低炭素社会の実現に向け先駆的にチャレンジする全国82の提案の中から、豊田市をはじめ13都市が環境モデル都市に選ばれている。



環境モデル都市13都市(平成21年4月1日時点)

環境モデル都市

都市規模	自治体名
大都市	京都市、堺市、横浜市、北九州市
地方中心都市	飯田市、豊田市、帯広市、富山市
小規模市町村	梼原町(高知県)、宮古島市、下川町(北海道)、水俣市
東京特別区	千代田区

ハイブリッド・シティとよた

ハイブリッドとは、“異質のものが混ざり合い形成されたもの”という意味の英単語。これは異質の要素や独立した技術を融合することで、新たな価値、新たな仕組みを創出していくこうという考え方を表現したものである。またこの言葉は、トヨタ自動車(株)が世界に先駆けて販売したハイブリッドカーにちなんでおり、豊田市を連想させるキーワードとして全国に情報発信する。

豊田市の現状と目標

豊田市のCO₂排出量は、1990年度では5,541千トンであり、2004年度には5.4%増加して5,839千トンとなっている。特徴としては、産業部門のCO₂排出量が全体の6割を占めており、全国割合36.3%と比べ非常に高く、また高い自動車依存度により運輸部門のCO₂排出量が多いことが挙げられる。

そのようなことから豊田市は、本市の特徴と強みを發揮し得る交通、産業、森林での重点的な取組を前提に目標を設定した。

二酸化炭素削減目標

長期目標(2050年) 必達50%削減、チャレンジ70%削減
中期目標(2030年) 必達30%削減、チャレンジ50%削減

削減率はいずれも1990年度比



環境モデル都市アクションプラン

「ハイブリッド・シティとよたプラン」概要

【基本コンセプト】人と環境と技術が融合する環境先進都市「ハイブリッド・シティ とよた」

環境と交通技術のハイブリッド

- かしこくクルマを使うエコカーライフの実現
 - ・P H V 共同利用システムの導入
 - ・エコカーの購入支援制度の拡充
 - ・エコドライブロードの設置整備
 - ・インフラ協調型安全運転支援の実証実験
- 使いたくなる公共交通の整備
 - ・バス優先レーンの試行導入
 - ・パーソナルモビリティの運用実証(都心)
 - ・P H V 共同利用システムの導入(再掲)
 - ・共通ICカードの導入

環境と産業技術のハイブリッド

- 豊田市環境経営ネットワークの構築による環境経営の普及
 - ・豊田市環境経営ネットワークの構築
- サステナブル・プラントへの移行推進
 - ・中小企業が一体となったCO₂削減活動の推進

都市と森林のハイブリッド

- 間伐の強力実施によるCO₂吸収量最大化
 - ・間伐の強力実施、地域の合意形成組織の展開
 - ・森林マネジメント組織の設立
- 地域材の利用推進
 - ・地域材の加工プラントの整備及び有効利用の取組
- 市民啓発活動及び森林環境教育の実施

環境技術による明日の快適な低炭素社会を提案

- 低炭素社会モデル地区の実現
 - ・低炭素社会モデル地区の整備
- 「人」と「緑」の都心づくり
 - ・ゾーン規制の導入実験
 - ・パーソナルモビリティの運用実証
 - ・P H V 共同利用システムの導入(交通)
 - ・共通ICカードの導入(交通)

環境とくらしの技術のハイブリッド

- 太陽光発電システムの普及促進
 - ・太陽光発電システムの導入支援拡大
- 照明・家電製品・建築物の省エネ化
 - ・(仮)中央保健センター(新東庁舎)
 - ・環境配慮型公共施設の改修(エコスクール整備促進(土橋小学校))
- 見える化による環境知識や関心の向上
 - ・豊田市版エコポイントを活用した行動転換の促進(新たなエコポイントの運用)

支える体制

- 地域住民等との連携体制
 - ・(仮)環境先進都市を実施するとよた市民の会の設立
 - ・(仮)環境先進都市とよた推進機構の設立
 - ・(仮)CO₂削減基金の創設

これからの取り組み

人と環境と技術が融合する「ハイブリッド・シティ とよた」をコンセプトに、豊田市の特徴・強みである「交通」「産業」「森林」の3つの分野の取組を柱として、「都心」を先進環境技術の集約の場・国内外への情報発信の場とともに「民生」の取組を各分野の支えに位置付け、活力ある低炭素社会を目指す。

本市は、平成21年1月23日に環境モデル都市に選定されたことを受け、平成21年度から平成25年度までの5年間の取組計画をまとめた環境モデル都市アクションプラン「ハイブリッド・シティとよたプラン」を策定した。

本プランでは、都市の将来像の実現を目指し62の取組とそのスケジュールを明らかにすることとしており、特に本市の取組を特徴づける21の重点事業を中心に積極的に展開する。

トピック

平成22年4月8日、豊田市はトヨタ自動車(株)をはじめとする民間企業13社(選定時点)と共同で企画した「愛知県豊田市における『家庭・コミュニティ型』低炭素都市構築実証プロジェクト」が、経済産業省「次世代エネルギー・社会システム実証地域」として選定された。この実証における①家庭内のエネルギー有効利用、②コミュニティでのエネルギー有効利用、③低炭素交通システムの構築、④生活者行動支援によるライフスタイルの変革、⑤グローバル展開による戦略検討などを通じて、環境モデル都市アクションプランにおける低炭素なまちづくりや新たな産業・ビジネスへの展開へと展開させていく。



中心市街地活性化協議会とは、中心市街地に関する多種多様な関係者で構成された法定組織で、中心市街地活性に関する事業の総合調整や事業の推進および自治体の策定する「中心市街地活性化基本計画」に対する意見表明・実効性に寄与するなど、まちづくりを総合的に推進する組織として、平成18年8月22日に改正施行された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づいて組織される団体。

豊田市中心市街地活性化協議会は愛知県下では初の協議会として平成18年10月10日に設立発会(全国では9番目)し、協議会の会長には豊田商工会議所の渡辺祥二会頭が就任。

豊田市中心市街地活性化基本計画 平成20年7月9日内閣府で認定
平成22年3月23日第1回変更

①平成21年度の会議実績

○平成二十一年度の会議実績
基本計画の進捗状況を把握して意見を述べる本会(全体会)を年度内に3回、役員・幹事合同会議3回、基本計画事業の実施部門である豊田シティセンター・マネジメント(TCCM)定例会議を毎月開催し、事業管理とマネジメントに努めた。その他中心市街地関係者に対する意識啓発のためのシンポジウム・セミナーを開催した。

②平成21年度の主な活動

多種多様な中心市街地関係者に対する意識啓発のため、セミナーを開催。

- ◆「コミュニティに依存した合理的町づくり手法
講師:高松丸亀町商店街振興組合
理事長 古川 康造 氏
(平成22年1月29日開催)

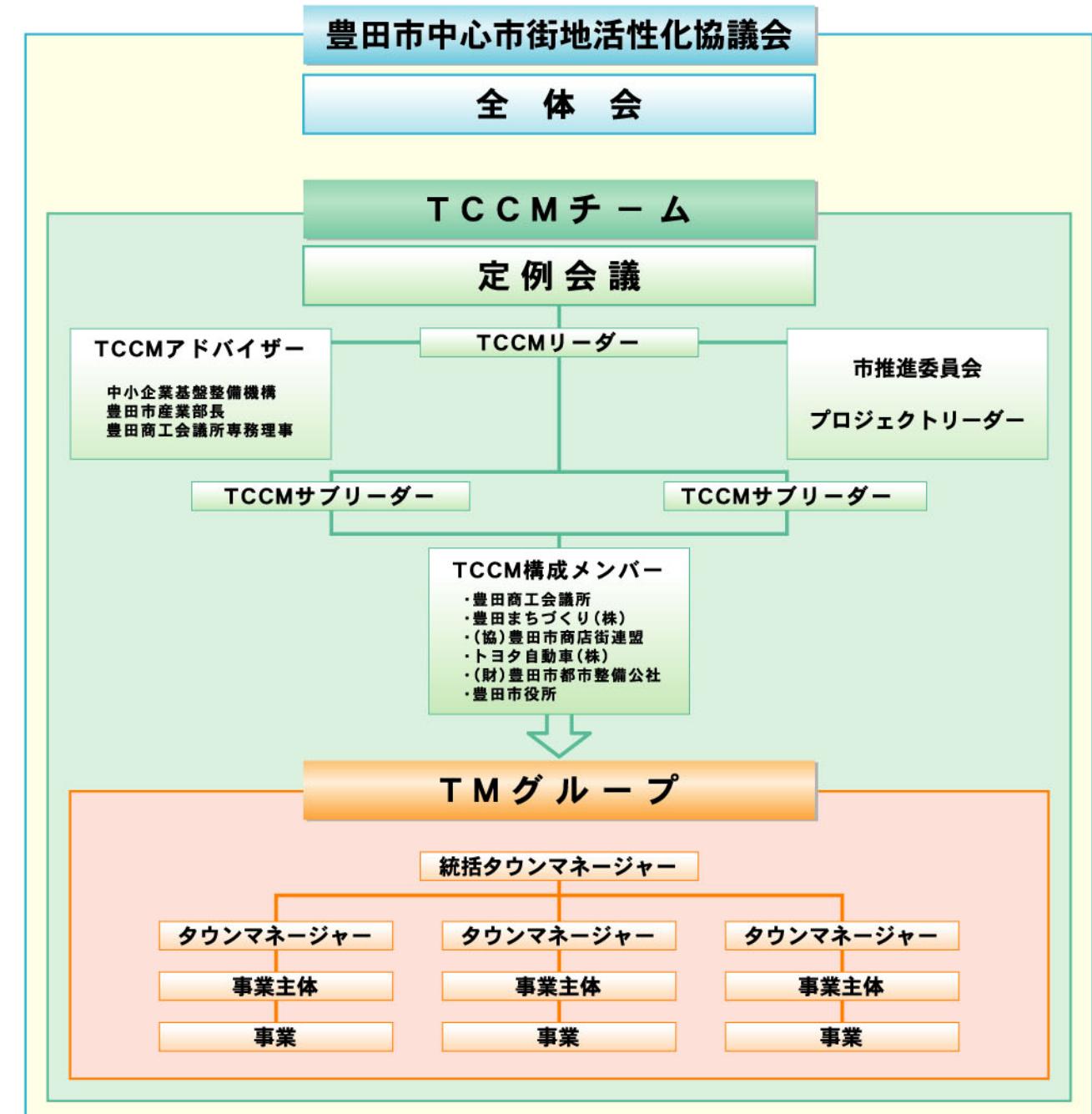


③平成22年度に向けて

協議会の指揮監督のもと、認定基本計画事業のさらなる推進に向けて以下の方針で取組む。

「平成 22 年度のTCCMの活動方針」

- ◆本年度は中活基本計画事業、とりわけ民間・官民共働26事業すべての状況を把握し、事業主体と連携しながら事業の推進、具現化の実効性を高めるため、下図の通り組織変更を行い活動を展開する。



豊田市商業振興条例

豊田市商業振興条例を制定し、平成17年4月1日に施行した。現在、条例をよりどころとして各種施策を積極的に展開し、豊田市の商業を活性化し、魅力あるまちづくりを目指している。

④ 豊かな市民生活に役立てます

そう、サティの相次ぐ撤退による中心市街地の空洞化を防ぐため、豊田市中心市街地緊急活性化計画に基づく各種事業を行ってきた。

その結果、大型商業施設の空き店舗はなくなり、またコモ・スクエアという新たな再開発ビルの影響もあって、中心市街地内駐車場利用台数および来街者は増加傾向にある。

今後は、合併により拡大した市全域の商業地に対して、がんばる商店街への支援集中を図り、買物の利便性を高めるとともに、商店街の持つ防犯などのコミュニティ機能を維持し、豊かな市民生活に役立てる。

⑤ より効果の高い事業を支援します

条例に基づき、豊田市商業振興委員会を設置している。

委員会では、より効果的な活性化事業を行うため、支援制度の対象となる事業の認定、評価を行うほか、商業環境の変化に対応するため、制度の検討および改廃を隨時行っている。

⑥ 条例による支援制度により商業活性化を推進します

条例により、商業活性化推進交付金および商業・サービス機能誘致奨励金の2つの制度を創設し、商業活性化事業を推進している。

①商業活性化推進交付金

商工会議所、商工会、市等の出資法人が商業地活性化のため計画的に行うソフト事業について、事業費の80%を上限に支援を行っている。

本交付金は、事業者が提案する事業を市が採択するという方式を採用することにより、全市一律の支援を脱して、地域の実情に応じたユニークなアイデアを支援し、事業者のやる気を喚起している。

②商業・サービス機能誘致奨励金

中心市街地および地域商業地において核となる施設を誘致し、計画的にまちづくりを進めていく必要が発生した場合、消費者および地域住民のニーズを踏まえ、商業機能等配置実行計画を策定する。この計画に定められた業種で1,000m²以上の規模である事業者が進出した場合に、固定資産税、都市計画税、事業所税相当の奨励金を支出し、核施設の進出を促進する。

【目標】

【施策分野】

商店街等の活性化

1 商店街活性化計画策定支援事業
現状分析を踏まえ、意欲的に活性化事業に取り組む商店街の計画策定を支援(8/10補助(見直しは4/10補助)・上限100万円)

2 商店街ファーサード整備等支援事業
商店街活性化計画に基づいて行うファーサード(統一的な外壁・シャッター等)整備を支援(4/10~6/10補助)

3 経営革新モデル店舗支援事業
商店街活性化計画に基づいて、経営革新・業態転換を行う個店の改装費支援(1/2補助・上限250万円)

4 経営革新・創業支援無利子融資事業
商店街活性化計画に基づいて、経営革新・新規創業を行う個店が利用する制度融資の利子補給(10/10補助・運転、設備)

5 繁盛店創出支援事業
商店街エリアにおいて、繁盛店を目指す個店をコンペによって選定、トータルプロデュース(改装費、経営指導等の支援)

6 商業・サービス機能誘致奨励金
商業機能等配置実行計画策定地域に1,000m²以上の床を取得して進出する事業者を支援(固定資産税等の1/2相当の奨励金、5年)

7 空き店舗活用支援事業
商店街活性化計画に基づいて、空き店舗に不足業種等を誘致する商業団体等への改装費・家賃支援(1/2補助・限度額有り)

8 コミュニティビジネス支援事業
商店街エリアにおけるコミュニティビジネスの創業、業態転換を総合的にサポート(改装費、家賃、経営指導等の支援)

9 商業活性化推進交付金
商工会議所、商工会、出資法人が商業地活性化のため計画的に行うソフト事業を総合的に支援(8/10充当率)

10 商工会議所等組織強化等促進事業
地域産業の振興・育成指導機関である商工会議所等の活動基盤となる拠点施設の整備支援(8/10補助、限度額あり)

11 事業評価制度・支援認定機関の設置
事業評価に基づく施策の改廃検討、個店支援策等を第三者機関として公正に審査する商業振興委員会の設置

商業の活性化による魅力あるまちづくりの推進

不足業種・業態の誘致

活性化体制の強化

商業活性化推進交付金による事業の数々

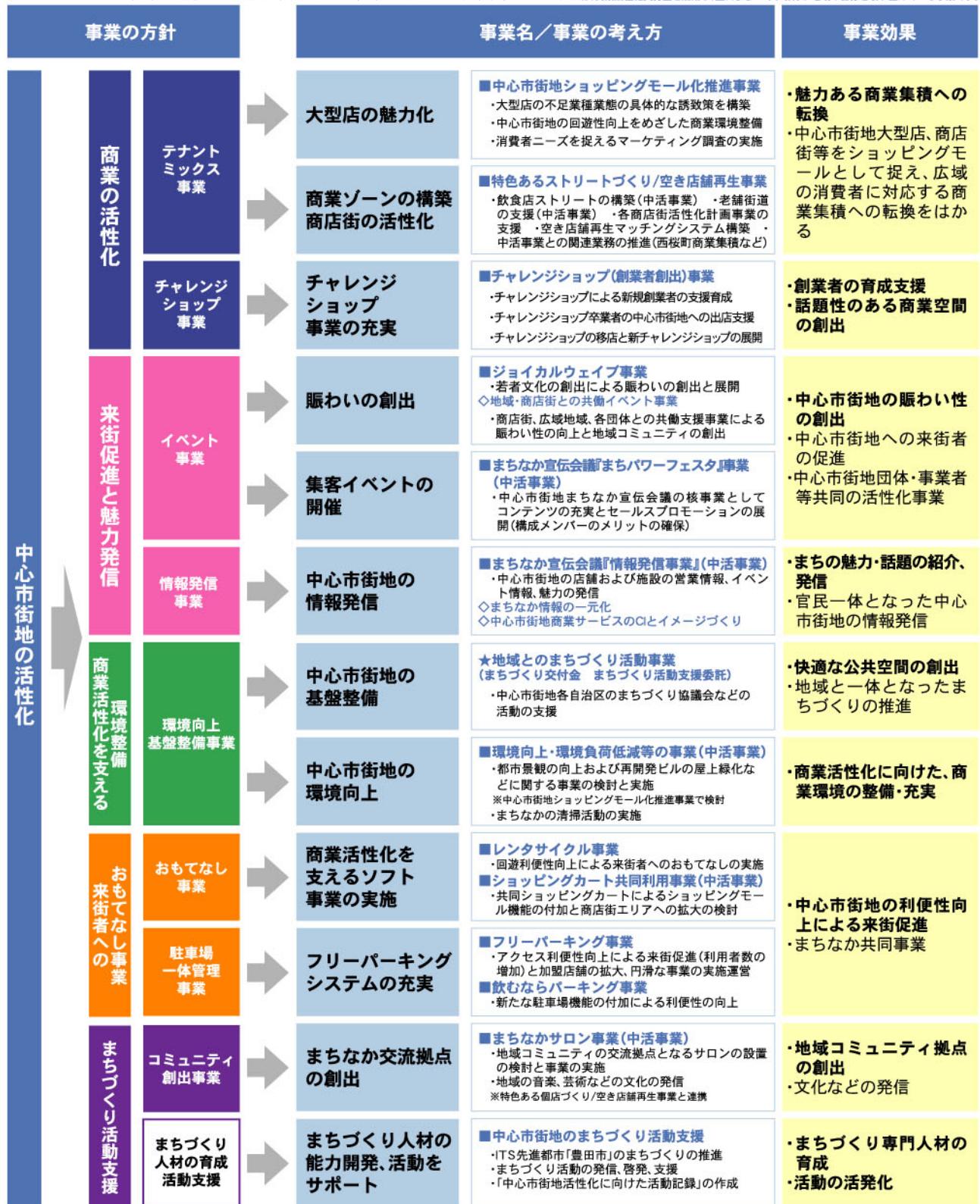
1. 商業活性化推進交付金(商業振興条例)とは

平成16年度から豊田市は、商業の自立的な取り組みを支援するために商業振興条例を施行し、そのなかで「事業者の創意工夫による総合的かつ機動的な活性化事業を支援することにより商業の活性化に資する目的」で商業活性化交付金事業を設定した。

2. 豊田まちづくり(株)商業活性化推進交付金事業第2期3ヵ年計画の基本方針

- テナントミックスの推進と創業者育成による商業の活性化
- 中心市街地への来街促進と魅力の発信
- 商業活性化を支える環境整備
- 来街者へのおもてなし
- まちづくり活動の支援

〈豊田まちづくり(株)第2期3ヵ年計画(H20~H22)商業活性化推進交付金事業〉■は、商業活性化交付金を活用し、豊田まちづくり(株)が地域の皆様と取り組んでいる事業です。



3. 商業活性化推進交付金事業の目標指標(H20~H22)

- 【歩行者通行量】平成19年 51,850人 ⇒ 平成22年 54,484人(伸長率 105%) ※豊田市駅東西ペデストリアンデッキ2ヶ所、休日と平日合計の通行量
- 【大型店売上高】平成19年 19,940百万円 ⇒ 平成22年 20,933百万円(伸長率 105%)
- 【駐車場利用台数】平成19年 3,839千台 ⇒ 平成22年 3,956千台(103%) ※フリーパーキング加盟駐車場利用台数

平成20~22年度(3ヵ年)事業内容

- ①大型店テナントミックス研究会による事業の推進(松坂屋、T-FACE、GAZA、セントレ、名鉄産業)
- ②大型店の不足業種・業態テナント誘致のための具体的な戦略の構築
- ③核ゾーンと周辺商店街間の回遊環境整備事業(共同BGM・インフォメーション等)
- ④核ゾーンの定期マーケティング調査

- ①商店街活性化計画策定商店街への事業推進支援
- ②商業ゾーンの構築推進支援(飲食店ストリートの構築、西桜町商業集積の検討)
- ③空き店舗再生／商業等配置実行計画の事業内容の検討(老舗街道・テナントミックス、空き店舗マッチング、まちなかサロン設置などプラン作成)

- ①新規出店者募集強化、宣伝広告(チラシ、ポスター、イベント、装飾など)
- ②出店者育成、研修実施
- ③施設の保守、管理、修繕、装飾(看板の設置など)
- ④集客イベントの実施(フリーマーケットなど)
- ⑤新チャレンジショッププラン作成、整備、移転、運用開始

- ①ジョイカルウェイブ トヨタロックフェスティバルの開催
- ・音楽イベントの開催
- ・アート、文化等の若者文化活動の支援(クリエイターズマーケットなど)

- ①まちなか宣伝会議の開催(事務局運営)
- ②『まちパワーフェスタ秋』開催(9月下旬～10月上旬)
- ③『まちパワーフェスタ春』開催(3月下旬)
- ④『まちパワーフェスタM!N!』開催(H22より年4～5回程度)

- ①とよたまちなかガイドブック(まちなか情報誌)の発行(秋・春/年2回発行)
- ②とよたまちなかWeb(PC版)、とよたまちなか(携帯電話版)の情報配信と更新
- ③まちなかVisual Identityの発信(ex.とよた元気プロジェクト関連装飾など)
- ④まちなか情報の一元化(ex.まちなか宣伝会議かわら版の発行など)
- ⑤まちなか商業サービスCity Identityの検討と展開(とよた元気プロジェクト連携など)

- ①まちづくり協議会等の地域住民のまちづくり活動への支援
- ・まちづくり活動支援依託
- H20.21 桜町地区、竹生線沿線4自治区、西町地区などの当該地区における整備計画作成支援
- H22 竹生線沿線4自治区まちづくり協議会等の活動支援

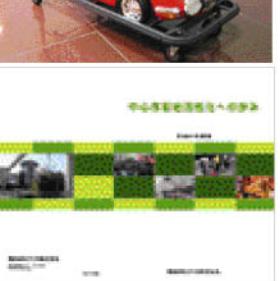
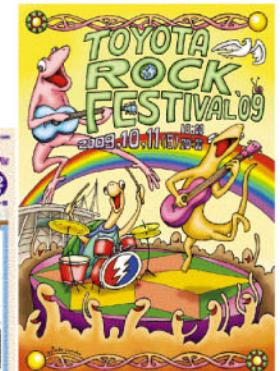
- ①豊田市駅西口再開発ビルの屋上緑化の検討および実施
- ※大型店テナントミックス研究会にて検討
- ②まちなかクリーンアップ事業の実施

- ①レンタサイクル事業(利用者数の拡大)
 - ・円滑な日常運用管理と保守・利用者調査の実施
 - ・パンフレットなどによるPR活動・新ステーションの設置など
- ②ショッピングカート共同利用事業(利便性・話題性ある新たな展開方法の構築)
 - ・円滑な日常管理と保守・利用範囲、種類、台数の拡大の検討・利用者調査

- ①フリーパーキング事業
 - ・FP加盟店の増加に向けた認証ライター貸出費補助
 - ・利用者、新規加盟店への案内用PR物作成・円滑な日常管理運営
- ②飲むならパーキング事業
 - ・利用者拡大・FP加盟店への参加協力要請

- ①まちなかサロン事業(まちなかサロンの設置運営)
 - ・設置場所、設計プランの検討
 - ・事業内容の検討とプラン作成
 - (機能、活用方法、管理運営方法、収支等の事業化に向けた内容の検討)
 - ・運用開始準備(広報、PR、運用スタッフなど)
- H22 パブリカ(まちづくり活動センター)設置 ※TCCMで運営管理

- まちづくり活動支援・人材育成事業
 - ①まちづくり記録・PR「中心市街地活性化の歩み」作成



その他のまちづくり事業
一店逸品運動

豊田市一店逸品運動実行委員会

④ 目的

商店街・個店等活性化、まちの賑わいづくりの一環として、各店舗独自のサービスや商品をイチ押し(こだわり)の『逸品』として消費者にアピールするまでのプロセスを学ぶため、平成18年より「豊田市一店逸品運動実行委員会」を発足し取り組んでいる。

④ 活動実績

- (1) 第4回 挙母の逸品フェア(18店舗対象)
平成21年9月26日～10月12日
- (2) 逸品フェアメモリアル(7店舗対象)
平成22年3月13日～28日
- (3) らくゼミ(7講座開催)
平成22年3月13日・14日
- (4) 集団講習会1回、研究会5回、フェア反省会1回
開催



④ 事業主体

豊田市一店逸品運動実行委員会
<http://www.toyota.or.jp/chukatsu/ippin/>
((協)豊田市商店街連盟挙母ブロック・豊田市中心市街地まちなか宣伝会議・豊田まちづくり(株)・豊田商工会議所)



その他のまちづくり事業
とよた元気プロジェクト 市内消費喚起！地産地消！で豊田を元気に

景気の悪化に伴う沈滞ムードを市民意識の高揚を図ることで一掃し、地産地消の推進、消費喚起による地域経済の活力向上を図ることを目的に平成21年3月に発足(平成22年度も継続)。

豊田商工会議所をはじめ構成団体や事業所が連携し、自動車をはじめ地元産品の購入や市内消費拡大に繋がる企画を開催している。



設置された大懸垂幕

④ 主な取り組み内容

- 市民意識の高揚(パンフレットやチラシへのロゴマーク掲載)
- 行事、イベント等による市内外に向けた豊田市の魅力発信
- 地産地消や消費喚起運動
- 市長、議長、会議所会頭、JA組合長などによるトップセールス事業の効果
- 企画商品(お茶、特産品の連携商品)やお中元、お歳暮商戦に合わせた企画などの企業の積極的な取り組みが見られた
- 豊田市内の消費拡大及びひまわり商品券の利用促進を目的にプロジェクトの一環として「とよた“元気”大抽選会」を開催
実施企画 平成21年12月12日～22年3月10日
抽選会 平成22年3月17日



中心市街地まちづくり活動センター(通称:パブリカ)

Public,Business,Relax,Interest,Culture,Art'Space

中心市街地の空き店舗を整備、中心市街地の商業者・居住者のコミュニティスペースとして活用することでまちなかの文化・情報発信機能の拠点とし、中心市街地への来訪促進を図ることを目的に平成21年9月26日に開設をした。



パブリカ外観

平成21年10月17日・18日「拳母まつり缶バッヂ配布」
主催:にぎわい研究会

パブリカ展示スペース

平成22年3月13日・14日「らくゼミ」
主催:一店逸品運動平成21年11月4日「パブリカ活用ワークショップ」
主催:にぎわい研究会

飲み歩きイベント「とよた西町はしご酒」

事業主体 西町商店街協同組合

事業協力 豊田市中心市街地活性化協議会、豊田市商店街連盟協同組合、豊田商工会議所、豊田まちづくり株式会社

目的 居酒屋など夜間営業の飲食店の組合員数が約5割を占める西町商店街の特色づけをする、すなわち「飲食店は西町・元気な西町」を印象づける事業を展開し、店舗や通り(界隈)の認知度向上を図るとともに、賑わいを創出する。

開催 第1弾 平成21年10月28日(水)、29日(木)
第2弾 平成22年2月24日(水)、25日(木)

内容 2夜限定の飲み歩きイベント。消費者は1セット5枚つづり券を購入し、2日間で5店“はしご”をする。飲食店はチケット1枚につき、自慢の1品と1ドリンク(アルコール又はソフトドリンク)のセットメニューを提供する。

事業効果 西町商店街界隈の賑わい創出、歩行者通行量の増加。飲食店の認知度アップ。飲食店来店促進。

事業結果

- 参加飲食店数 第1弾 12店舗 第2弾 29店舗
- チケット販売数 第1弾 702セット 第2弾 1,656セット
- 歩行者通行量昨年同日対比 第2弾 121%

※西町商店街地区内にある歩行者自動計測装置パロッサーの3箇所分の合計を昨年度と比較した。

第2弾 はしご酒パンフレット



イベント当日の様子

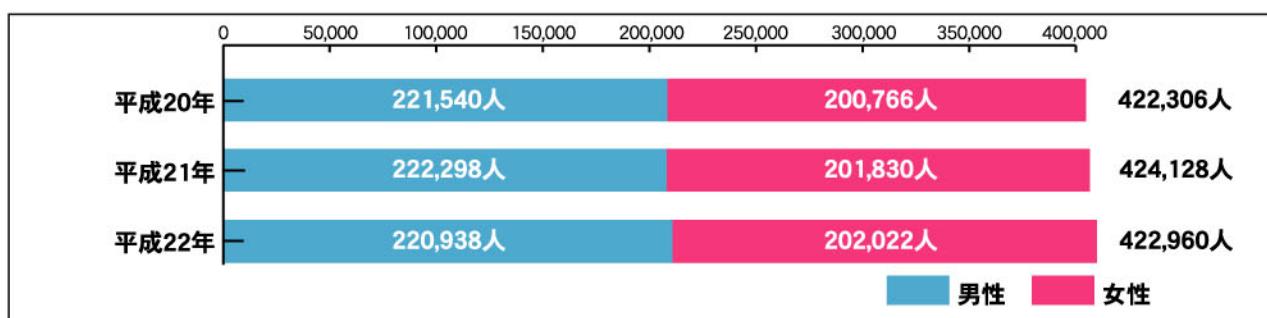


豊田市データ

豊田市の市勢データ

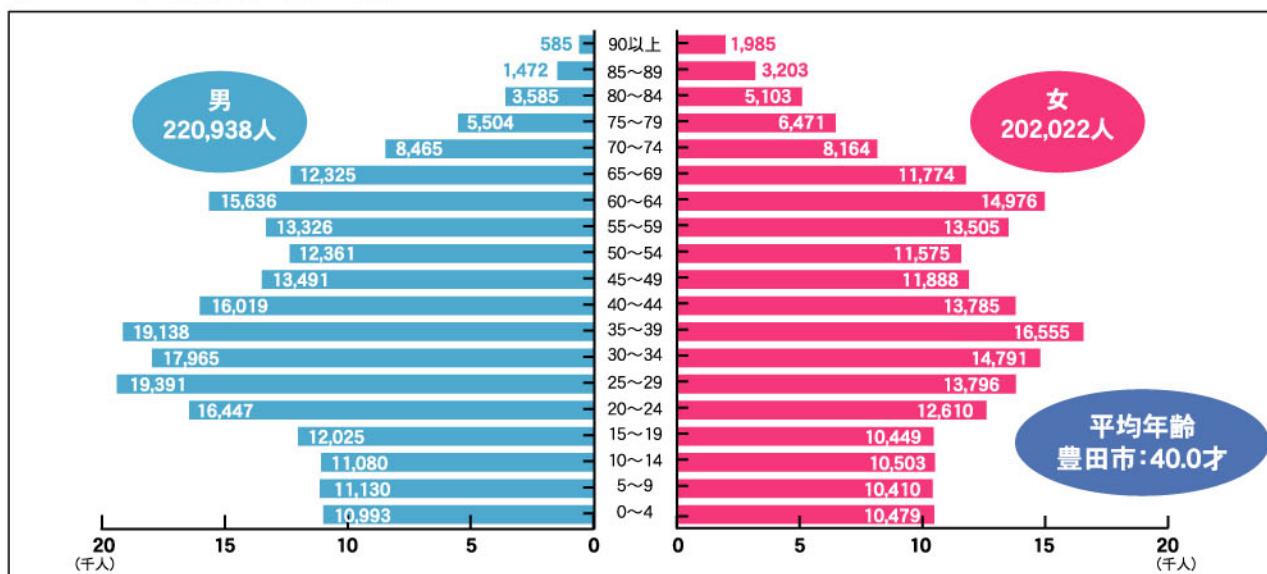
豊田市の人団推移

出典:豊田市統計書平成20年度版地区別人口推移(平成22年度4/1現在)



豊田市年齢別・男女別人口

出典:豊田市統計書平成20年度版(平成22年4/1現在)



<市町村別平均年齢> 愛知県:42.6才 名古屋市:43.5才 豊橋市:42.9才 岡崎市:41.5才 (平成22年4/1現在)

豊田市の昼間人口・夜間人口の推移

出典:平成20年度版 豊田市統計書

区分	平成7年			平成12年			平成17年		
	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者
昼間人口	356,583	199,632	…	375,298	211,391	56,482	445,252	253,617	57,408
夜間人口	340,876	185,434	…	350,847	189,313	54,109	408,700	218,366	56,107

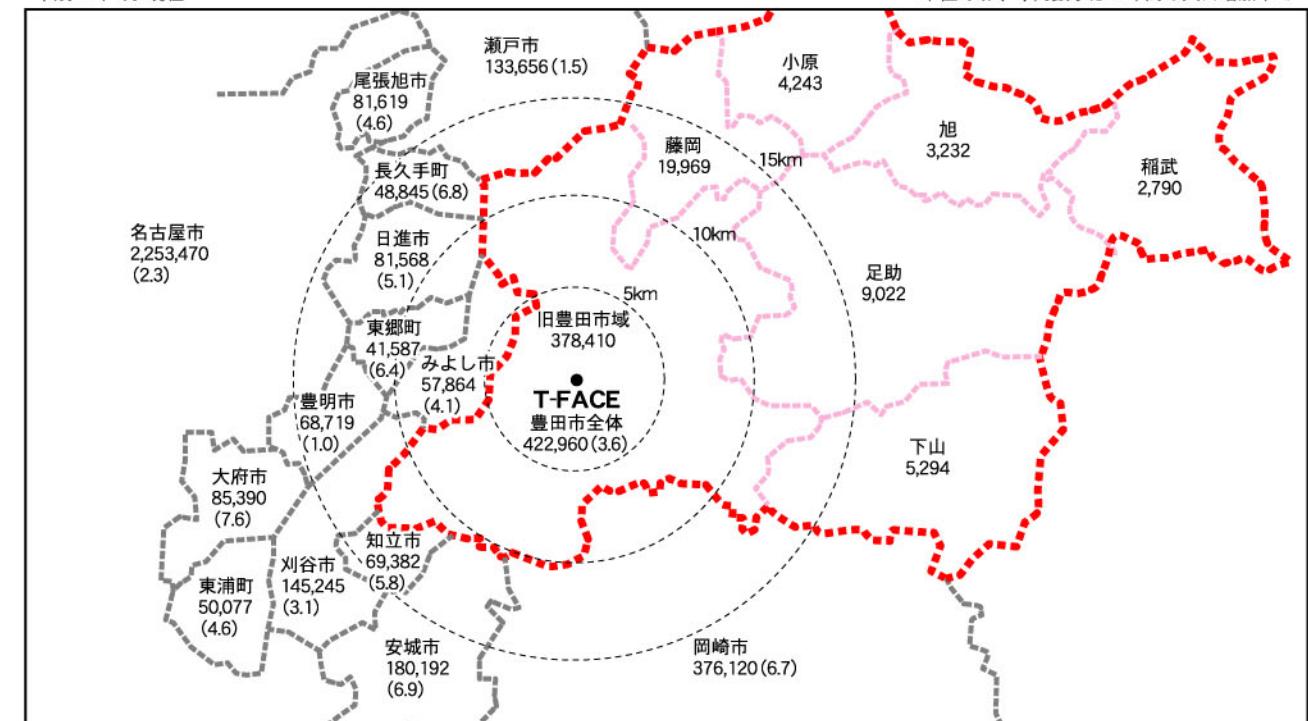
愛知県主要都市との人口比較

出典:平成17年愛知県統計書

	人口(人)	5年間の伸長率(%)	世帯数(世帯)	1世帯あたり人員(人)	1人あたりの所得(千円)
豊田市	424,068	+2.9	166,486	2.5	6,620
名古屋市	2,250,569	+1.6	1,001,935	2.2	3,592
豊橋市	378,118	+1.8	140,817	2.7	3,085
岡崎市	373,845	+5.3	140,353	2.7	3,599

商圈の設定

平成22年4月 現在

<5km圏内>
(車で10分以内)

人口	5年間伸長率
豊田市中心	約22.0万人 (4.0%)

<10km圏内>
(車で20分以内)

人口	5年間伸長率
豊田市(旧)	約37.8万人 (2.9%)
みよし市	約5.8万人 (4.1%)
東郷町	約4.2万人 (6.4%)
日進市	約8.1万人 (5.1%)
岡崎市一部	約5.3万人 (6.7%)
合計	約61.2万人 (約4.2%)

※平成17年4月に周辺市町村を合併し、愛知県で名古屋市に次いで人口が2番目の都市となった。
面積は918.47km²と約3倍となったが、人口のほとんどが旧豊田市域の居住者である。

交通アクセス

名古屋都市圏に隣接する豊田市は、西三河地域の中心に位置し、中核都市として独立商圏を形成している。

鉄道



<近隣からのアクセス>

■名古屋鉄道
名古屋 ⇒⇒⇒ 豊田市駅 60分
740円

知立 ⇒⇒⇒ 豊田市駅 25分
390円

■愛知環状鉄道
岡崎 ⇒⇒⇒ 新豊田駅 30分
490円

瀬戸市 ⇒⇒⇒ 新豊田駅 30分

<1日の平均乗降客数> 出典:豊田市統計書(平成20年度版)



※特に朝夕の通勤ラッシュ時は2つの駅をつなぐペデストリアンデッキの往来が多くなる。

●名鉄線の2線(豊田線・三河線)は都市間交通手段として利用されている。特に周辺地域のベッドタウン化による利用者の増加により運行本数の増加、始発・最終電車の延長サービスが図られている。

●2005年愛知万博開催に伴い、八草駅と名古屋市の藤が丘をつなぐ東部丘陵線(リニモ)が開通した。

●愛知環状鉄道は平成20年3月より新豊田ー三河豊田間で複線化となり通勤通学を中心とした乗降客数が増加している。

バス

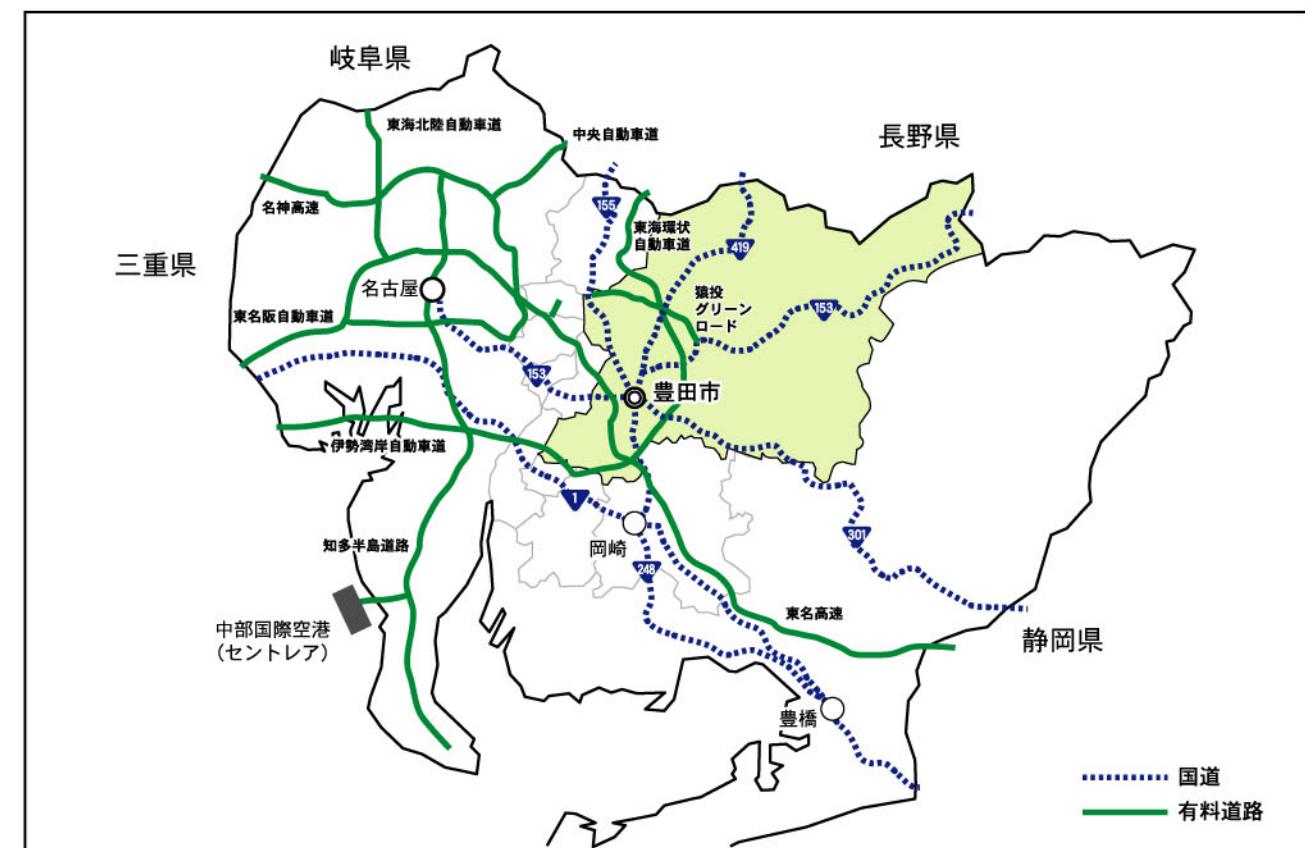
●名鉄バスが、豊田市駅東西ターミナルより発着し、中心市街地から周辺部へ運行している。

1日約5,000人の人が豊田市郊外の交通手段として利用している。

●平成19年より豊田市基幹バス「おいでんバス」の運行が始まり、豊田市駅と旭、稻武、小原、下山、藤岡、足助地区を結ぶ路線となっている。

●豊田市内及び豊田市駅と栄、伏見、名古屋駅を結ぶ都市間高速バスの運行では、鉄道路線よりも安価で行くことが可能となっている。

道路交通



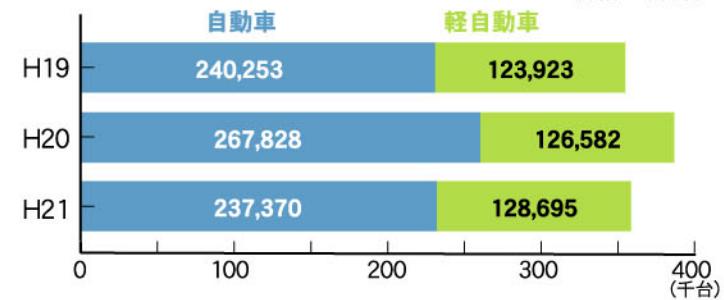
<近隣からのアクセス>

名古屋 ⇒⇒⇒ 豊田 60分
29km

豊橋 ⇒⇒⇒ 豊田 100分
47km

岡崎 ⇒⇒⇒ 豊田 40分
17km

<自動車・軽自動車登録台数の推移> 出典:豊田市統計書(平成20年度版)



●近年第2東名、東海環状道路の整備により、市内に17のIC、3つのSA、PA、2つのJCTが存在する県内有数の交通拠点になりつつある。

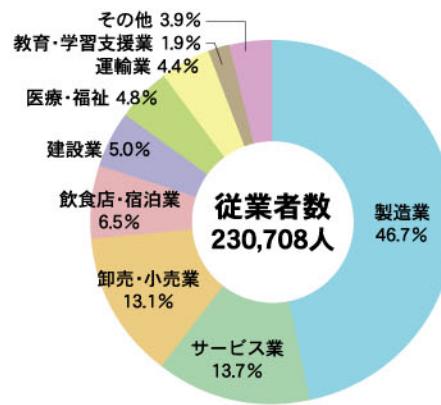
資料 豊田市の産業

豊田市 市勢ガイド2010より

平成18年の事業所統計調査(合併前7市町村の数値を合算)による産業別就業者数の割合は、第2次産業(製造業、建設業等)が51.7%、第3次産業(卸・小売・サービス業等)が44.4%をしめている。

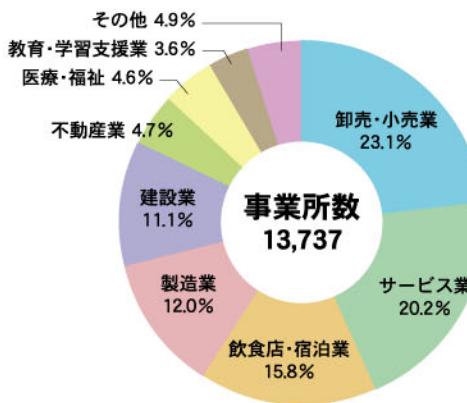
産業大分類別従業者数構成比

(平成18年10月1日現在・事業所・企業統計調査)〔民営事業所〕



産業大分類別事業所数構成比

(平成18年10月1日現在・事業所・企業統計調査)〔民営事業所〕



農家数・農家人口の推移

(各年2月1日現在・農業センサス)



商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

(豊田市統計書)

年次	商店数	従業者数(人)	年間商品販売額(万円)
平成9年	3,129	23,100	163,200,878
平成14年	2,799	25,256	149,030,179
平成16年	2,685	24,176	154,605,992
平成19年	2,873	26,725	164,520,883

工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

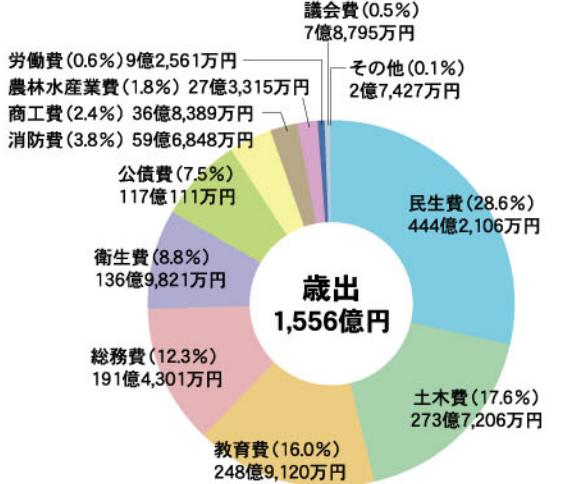
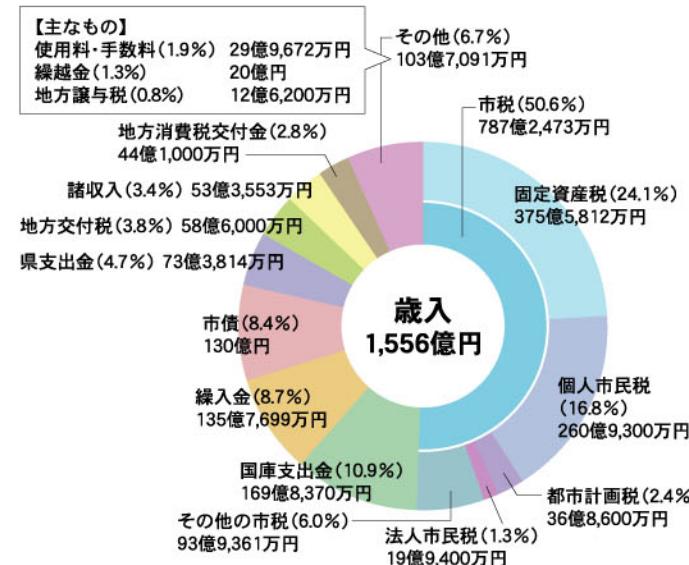
(「豊田市の工業(工業統計調査結果報告書)」より、従業者4人未満含む)

年次	工場数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
平成15年	1,212	91,081	944,000,030
平成16年	1,184	90,293	976,027,658
平成17年	1,398	100,096	1,104,328,144
平成18年	1,406	105,996	1,260,083,934
平成19年	1,392	110,240	1,324,801,015

資料 豊田市の財政

平成22年度当初予算

一般会計 1,556億円(前年比5.4%減)



総額
2,355億6,281万円
(前年比2.9%減)

特別会計 641億9,992万円(前年比1.6%増)

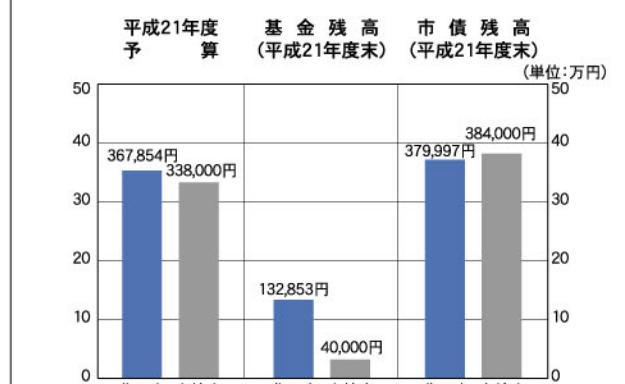
国民健康保険	311億1,836万円	
食肉センター	1億4,160万円	
土橋	35億5,934万円	
寺部	8,525万円	
花園	7,041万円	
分譲住宅建設	4,286万円	
公共下水道	93億5,058万円	
卸売市場	2億2,619万円	
老人保健	561万円	
農業集落排水	6億2,223万円	
水道水源保全	4,806万円	
母子寡婦福祉資金貸付	2,019万円	
介護保険	149億4,315万円	
財産区	盛岡 賀茂	399万円 1,046万円
簡易水道	11億9,050万円	
後期高齢者医療	27億6,108万円	

企業会計(水道事業会計) 157億6,288万円(前年比6.5%増)

収益的	収入	98億8,542万円	うち料金収入	88億3,171万円
	支出	98億2,334万円	うち受水費	27億1,662万円
資本的	収入	15億2,995万円	うち工事分担金	9億5,205万円
	支出	59億3,954万円	うち建設改良費	47億7,969万円

他の自治体(中核市)との比較(市民一人あたり)

「予算」「基金残高」「市債残高」の市民一人あたりのお金と同等規模の自治体(中核市)平均と比べてみると……



※市財政課調べ、平成22年2月1日現在の人口をもとに算出、いずれも一般会計ベース

周辺商業施設概要

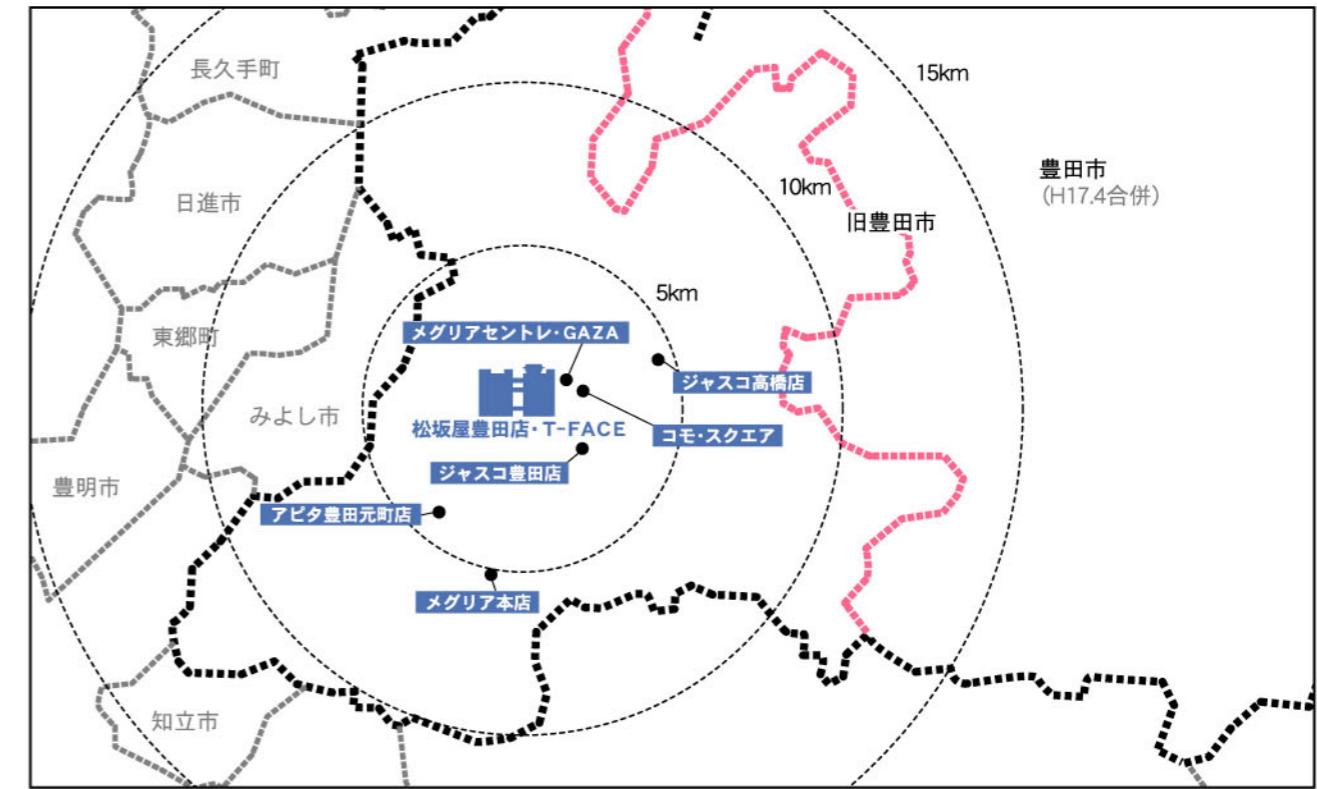
大規模店舗(平成21年現在)

豊田市の近郊は、人口の著しい増加や、15~64才の生産年齢人口比率が全国平均より高いことなどを理由に、優良マーケットと考えられている。そのため中小店と大型店、中心部と郊外がそれぞれの役割を担い、すみわけを進めている。

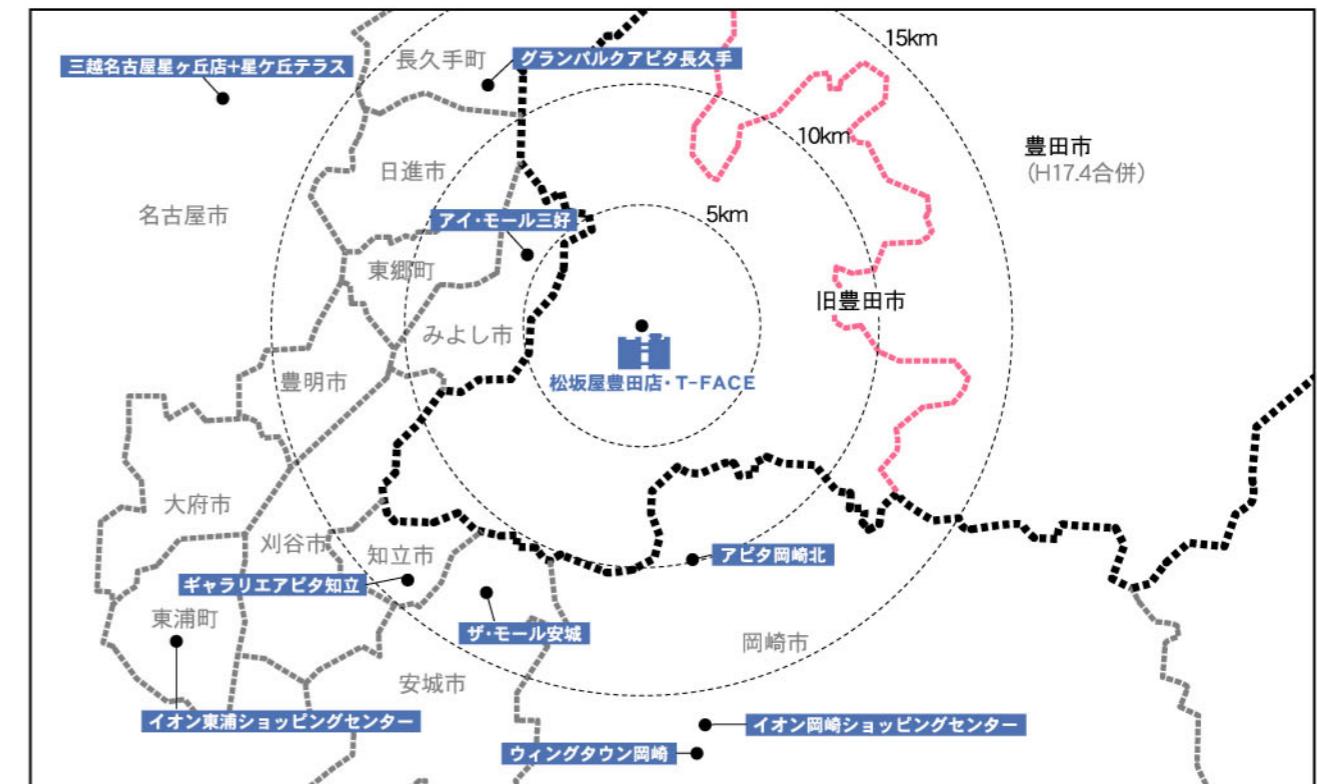
大規模店舗施設概要

商圏内(半径5km)直接大規模店舗
コモ・スクエア 豊田市喜多町/建築延床面積約46,870m ² /駐車場250台 2棟のビルで構成され、1棟は豊田キャッスルホテル、大型スポーツ施設、オフィスで構成。もう1棟は飲食店、美容サービスを中心とした店舗で構成されている。平成20年には住居棟も完成し、豊田市中心市街地の昼間人口増に寄与している。
メグリアセントレ+GAZA CSC/豊田市喜多町/売り場面積約15,000m ² /駐車場1,544台 ヤングファミリーターゲット。1階はトヨタ生協食品売り場で足元商圈を獲得し、2階には「ファッションセンターしまむら」「コムサイズム」「ハッシュアッシュ」などが出店。3階には、「ユニクロ」「くまざわ書店」「すがきや」などが出店し、駅前立地かつ駐車場隣接と利便性が高い。
ジャスコ豊田店 GMS/豊田市広路町/店舗面積16,516m ² /駐車場2,000台 ニューミッシーからミセスをターゲットにしたGMS。食品売場を中心にデイリー性の高い店舗を志向するとともに、施設面においては隣接地に広大な駐車スペースを有し、商圈特性である車型社会への対応が図られている。
ジャスコ高橋店 GMS/豊田市東山村/店舗面積14,688m ² /駐車場2,300台 豊田市東部の郊外の住宅地に立地するGMS。また豊田店と同様に隣接地に広大な2棟の駐車スペースを有している。商品構成は住宅地という立地からデイリー性の高い品揃えであり、商圈顧客のライフスタイルに溶け込んでいる。
メグリア本店 生協/豊田市山之手/店舗面積13,310m ² トヨタ自動車系の企業生協であることから、商圈顧客からのロイヤリティが高い。商品構成はファッション、リビング、食料品ともエコノミーからボリュームのデイリーな商品を中心に展開し、2009年にはファッションゾーンのリニューアルを実施した。とりわけ、食料品が強く賑わいがある。ジャスコと同様、店舗地下・隣接地に広大な駐車場がある。
アピタ豊田元町店 GMS/豊田市土橋町/店舗面積9,675m ² /駐車場1,050台 2005年にリニューアルオープンをし、隣接駐車場には「スターバックス」「マクドナルド」のドライブスルーが設置されている。豊田インターに近くみよし市からのアクセスも便利。
三越名古屋星ヶ丘店 百貨店/名古屋千種区/店舗面積21,178m ² /駐車場1,000台 星ヶ丘テラス SC/名古屋千種区/店舗面積9,541m ² /駐車場1,474台 イオン岡崎ショッピングセンター(西武・ジャスコ) SC/店舗面積88,022m ² アピタ岡崎北 SC/岡崎市日名北町/店舗面積19,849m ² /駐車場1,800台 アイ・モール三好 SC/みよし市三好町/店舗面積40,793m ² ザ・モール安城 SC/安城市大東町/店舗面積22,818m ² /駐車場1,500台 ギャラリエアピタ知立 SC/知立市長篠町/店舗面積27,157m ² /駐車場3,000台 グラナリクアピタ長久手 SC/愛知郡長久手町/店舗面積27,845m ² イオン東浦ショッピングセンター SC/東浦町/店舗面積45,512m ² /駐車場4,000台 ウィングタウン岡崎 SC/岡崎市羽根町/店舗面積13,330m ² /駐車場1,350台

豊田市周辺大規模店舗位置図



広域大規模店舗位置図(半径約15km圏内)



豊田市中心市街地の歩行者通行量①

出典:平成21年度豊田市中心市街地現況把握調査・平成21年度豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置管理業務委託結果概要

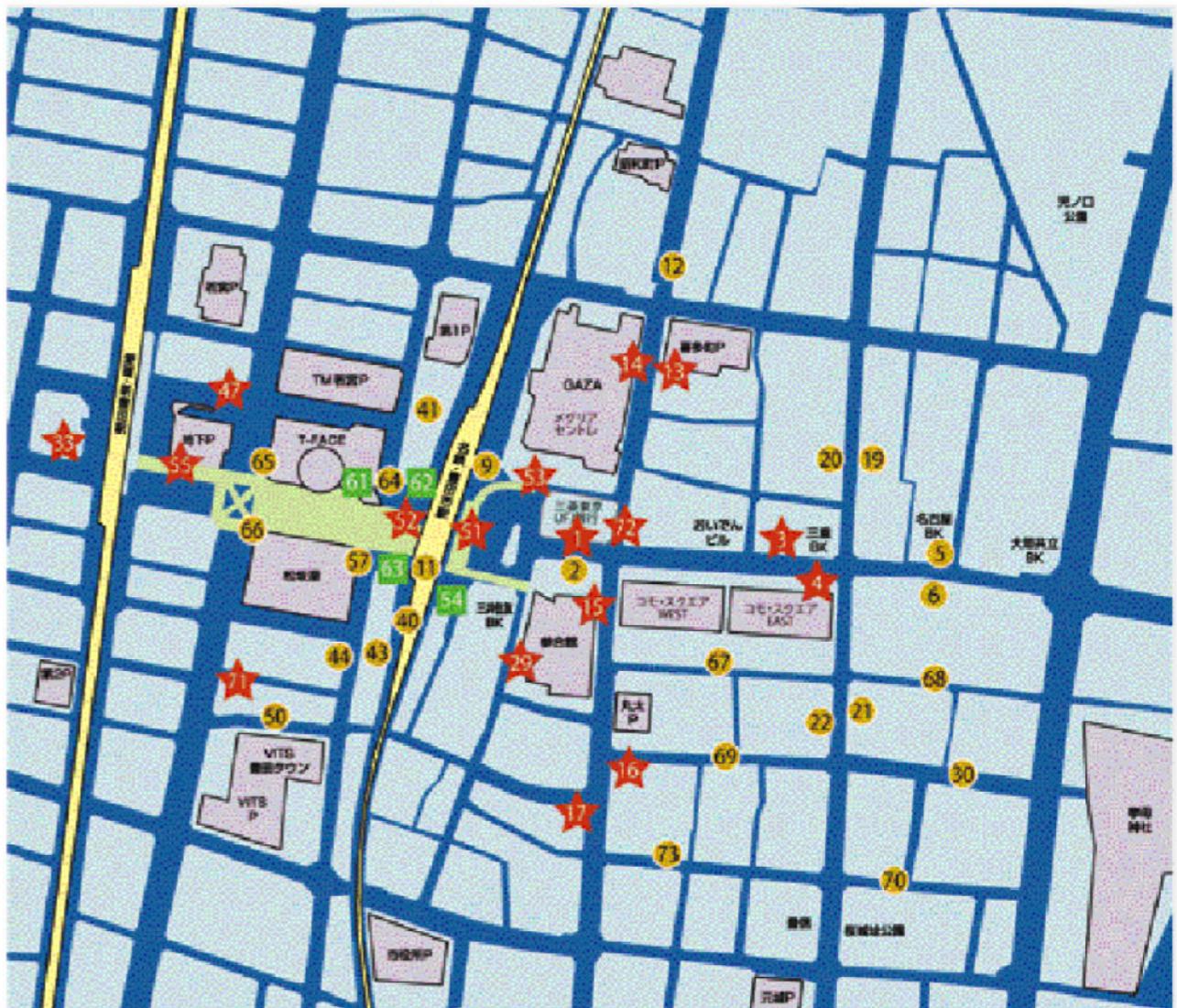
④ 豊田市中心市街地歩行者通行量調査(平成21年度豊田市中心市街地現況把握調査における豊田市中心市街地の通行量調査)

調査目的	様々な要因により変化する通行量の実態を把握し、諸計画立案にあたっての基礎資料とする。
調査日時	【休日】 平成21年11月1日(日)…くもりのち雨【基本時間】8時～20時(12時間) 【平日】 平成21年11月4日(水)…晴れ 【基本時間】8時～20時(12時間)
調査地点	豊田市中心市街地46地点 ※地点番号7~8、10、18、23~28、31~32、34~39、42、45~46、48~49、56、58~60の27地点は調査未実施
計測方法	①調査スタッフの目視による歩行者通行量の計測 各時間につき45分の計測数値に4/3を乗じて得た数値(小数点以下切り上げ)を、その時間の通行とし、調査地点毎に(東西)または(南北)の方向別に通行量を計測した。 ②豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置による計測 調査地点18ヶ所において、毎時の歩行者通行量を自動で計測できる装置にて、調査地点毎に(東西)または(南北)の方向別に通行量を計測した。
調査主体	豊田市

●設置写真



④ 豊田市中心市街地歩行者通行量調査地点図(平成21年度)



④ 豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置による歩行者通行量調査

目 的	①中心市街地内で実施される各種事業(商業活性化施策)の効果を図る。 ②来街者の流れを正確に把握し、今後の中心市街地活性化施策を検討するための基礎資料とする。 ③豊田市中心市街地活性化基本計画に位置付ける各種事業の効果を確認するための参考資料とする。
効 果	①年間(365日)を通した歩行者通行量の計測が可能で、結果が気象状況に左右されない。 ②数値が正確である(経年おこなわれている人的な歩行者通行量調査と比較して)。 ③通常時、イベント実施時など状況に応じた計測が可能で、前年調査との比較が容易である。
計測地点	豊田市中心市街地一帯18地点

地点番号	地 点 名	計測方向	地上部orデッキ部
1	三菱東京UFJ銀行前西側	東西	地上部
3	三重銀行前	東西	地上部
4	コモスクワア前	東西	地上部
13	喜多町駐車場西側	南北	地上部
14	G A Z Aビル東側	南北	地上部
15	参合館東側入口	南北	地上部
16	学生の店みくさ前	南北	地上部
17	都築歯科医院前	南北	地上部
29	参合館西側「豊田観光日急」前	南北	地上部
33	新豊田駅西駐車場南	東西	地上部
47	新豊田駅前広場東側	南北	地上部
51	豊田市駅東口	東西	デッキ部(2階)
52	豊田市駅西口	東西	デッキ部(2階)
53	駅東口デッキ北	東西	デッキ部(2階)
54	駅東口デッキ南	東西	デッキ部(2階)
55	新豊田駅東口	東西	デッキ部(2階)
71	けやき通り沿い「だるま」前	南北	地上部
72	三菱東京UFJ銀行前東側	南北	地上部

システム仕様 [計測時間]毎日5時～24時(19時間) [計測間隔]60分毎 [比較機能]前年同曜日と自動比較

[帳票内容]日報、月報、期間報、年報 [計測方向]各地点毎に異なる

[検知方式]画像検知・形状認識方式(歩行者の頭部を読み取り、歩行者の動きを検出)

※個人特定不可

[データ管理]カメラセンサーにより計測したデータを携帯電話による無線通信で端末に送信

設置者 豊田市産業部商業観光課

…(丸)グランドレベル

…(星)自動計測装置調査地点

…(四角)2階ペデストリアンデッキ

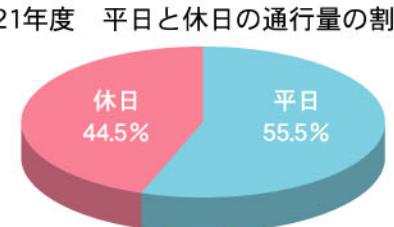
豊田市中心市街地の歩行者通行量②

平成21年度 豊田市中心市街地の歩行者通行量の状況

(1) 豊田市中心市街地現況把握調査における豊田市中心市街地歩行者通行量調査結果

- 休日 11月1日(日)8~20時のべ83,973人→[参考:7~22時含む=のべ88,926人]
- 平日 11月4日(水)8~20時のべ104,679人→[参考:7~22時含む=のべ119,820人]

年度	休日(人)	平日(人)	休日/全通行量
H21	83,973	104,679	44.5%
H20	135,987	153,488	47.0%
H19	140,633	154,672	47.6%
H18	123,926	145,606	46.0%



※通行量に大幅な違いがあるのは、それぞれの年度において調査地点の数と場所に変化があるため。
H21(46地点)、H20(64地点)、H19(70地点)、H18(66地点)

経年の休日と平日の通行量の割合を比較すると、平日の通行量が休日の通行量を上回る傾向があり、平成21年度では、休日の通行量の割合が昨年度より2.5ポイント減少している。

●休日の通行量上位5地点の平成21年から平成18年度の推移 (単位:人)

調査地点	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
52 デッキ②豊田市駅西口	1位 12,547	1位 15,621	2位 12,939	2位 13,398
51 デッキ①豊田市駅東口	2位 9,752	2位 12,511	1位 12,948	1位 13,890
53 デッキ③駅東口デッキ北	3位 7,898	3位 9,920	3位 8,061	3位 11,683
11 名鉄豊田市駅下ロッテリア前	4位 6,357	4位 7,586	4位 7,962	5位 4,986
55 デッキ⑤新豊田駅東口	5位 5,409	6位 6,541	8位 4,488	7位 3,962

●平日の通行量上位5地点の平成21年から平成18年度の推移 (単位:人)

調査地点	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
52 デッキ②豊田市駅西口	1位 14,575	1位 16,974	1位 14,510	1位 14,826
51 デッキ①豊田市駅東口	2位 9,531	2位 11,250	2位 11,453	2位 11,810
55 デッキ⑤新豊田駅東口	3位 8,958	3位 9,968	5位 6,294	4位 7,010
11 名鉄豊田市駅下ロッテリア前	4位 7,721	4位 8,078	4位 7,419	3位 8,737
53 デッキ③駅東口デッキ北	5位 5,182	6位 6,025	6位 5,252	6位 6,034

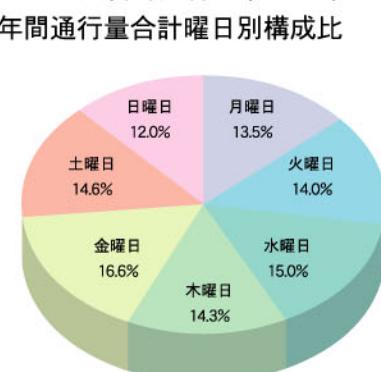
経年を通して、休日平日共に通行量の多い地点の順位の入れ替わりはあるものの、名鉄豊田市駅や新豊田駅周辺の地点が上位にランクインされる結果となった。上位5地点においても昨年度(平成20年度)の通行量と比較すると大きく減少する結果となった。

(2) 豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置における年間集計結果

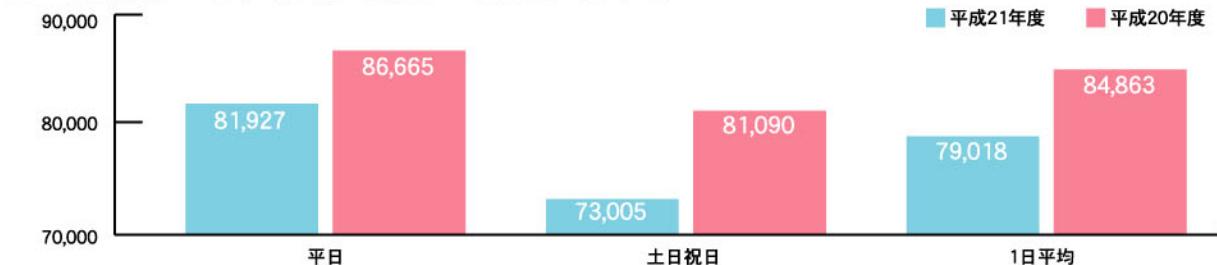
●全18地点合計通行量(5-24時) (単位:人)

項目	平成21年度	平成20年度	前年対比
年間計	28,841,686	30,975,025	93.1%
四半期 月平均	4-6月 2,438,792	2,647,610	92.1%
	7-9月 2,469,950	2,675,600	92.3%
	10-12月 2,437,917	2,657,551	91.7%
	1-3月 2,267,237	2,344,247	96.7%
月平均	2,403,474	2,581,252	93.1%
曜日別 1日平均	月曜日 75,239	80,830	93.1%
	火曜日 77,966	81,921	95.2%
	水曜日 83,321	87,522	95.2%
	木曜日 79,813	85,393	93.5%
	金曜日 92,541	96,788	95.6%
	土曜日 81,225	89,818	90.4%
	日祝曜日 66,625	74,214	89.8%
	平日 81,927	86,665	94.5%
	土日祝日 73,005	81,090	90.0%
1日平均	79,018	84,863	93.1%
時間帯 1時間平均	早朝(5-8時) 2,409	2,508	96.0%
	昼間(8-17時) 4,714	5,078	92.8%
	夜間(17-24時) 4,196	4,520	92.8%
1時間平均	4,159	4,466	93.1%

●全18地点合計通行量(5-24時) 年間通行量合計曜日別構成比



●全18地点合計 1日平均通行量(平日・土日祝日・1日平均)



全18地点合計1日平均通行量は、平成21年度と20年度で比較すると、約7%程度減少している。特に土日祝日の通行量の減少が著しく、平日が約5.5%減少に対し、土日祝日は、約10%減少している。

●全18地点合計通行量(5-24時) 日別通行量『年間ベスト10』

順位	日にち	曜日	天気	通行量	与件
1位	7月25日	土曜日	晴時々雨	217,948	第41回 豊田おいでんまつり ファイナル
2位	7月26日	日曜日	晴のち雨	196,858	第41回 豊田おいでんまつり 花火大会
3位	3月3日	水曜日	晴れ	124,603	豊田スタジアム 日本代表V S バーレーン(観客数42,591人)
4位	7月31日	金曜日	曇り	106,950	
5位	3月13日	土曜日	曇り	105,659	Jリーグ グランパスV S 川崎フロンターレ(観客数25,176人)
6位	10月18日	日曜日	晴れ	105,443	拳母まつり
7位	6月26日	金曜日	晴れ	104,015	
8位	11月28日	土曜日	晴れ	103,258	Jリーグ グランパスV S モンティオ山形(観客数15,071人)
9位	4月12日	日曜日	晴れ	102,718	Jリーグ グランパスV S 浦和レッズ(観客数32,435人)
10位	4月24日	金曜日	晴れ	102,647	とよた緑化まつり(スタジアム)

平成21年度の全18地点合計日別通行量の多い日の順位は、おいでんまつり開催日やスタジアムでのサッカーの試合開催日など、まちなかで大きなイベントが開催される日がランクインされた。

(3) 豊田市中心市街地活性化基本計画目標指標地点における通行量状況

●平日8時から20時 7地点通行量

豊田市中心市街地活性化基本計画 歩行者通行量目標値 30,500人

(平成24年度目標) (単位:人)

調査地点	平成19年度 通行量	平成20年度 通行量	平成21年度	
			通行量	H19対比 H20対比
★ 三菱東京UFJ銀行前西側(三菱東京UFJ銀行前)	1,891	2,416	2,182	115.4% 90.3%
★ コモ・スクエア前(カワシン前)	2,793	2,003	1,867	66.8% 93.2%
★ 豊田市駅西口(デッキ②豊田市駅西口)	14,510	15,664	15,306	105.5% 97.7%
★ 新豊田駅西駐車場前(新豊田駅西駐車場南)	1,479	1,544	1,288	87.1% 83.4%
② 参合館前	2,719	2,802	2,501	92.0% 89.3%
㉚ 藤屋呉服店前	408	631	730	178.9% 115.7%
④ 緑陰歩道マンガ喫茶亞熱帯前	1,988	2,170	1,909	96.0% 88.0%
合計	25,788	27,230	25,783	100.0% 94.7%

※豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置は、平成20年度4月から設置。

※平成20・21年度の調査地点1・4・52・33は、豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置による1年間の1日平均通行量。

※平成19年度の調査地点全てと、平成20・21年度の調査地点2・22・40は、豊田市中心市街地通行量調査による1日の通行量。

豊田市中心市街地活性化基本計画では、目標指標の1つとして豊田市中心市街地7地点の歩行者通行量合計を設定し、その目標値は、平成19年度の25

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議

全国の中心市街地活性化協議会、まちづくり会社との情報交流・ネットワークづくりを目的に、豊田まちづくり(株)は、全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議に参加しています。

設立目的

まちづくり三法の改正により、中心市街地のまちづくりを進める重要な主体として位置付けられたまちづくり会社や中心市街地整備推進機構等が、情報交流を行い、民間主体による中心市街地の再生とコンパクトなまちづくりを促進することを目的とする。

連絡会議概要

- 設立:平成19年6月28日
- 会員:69社(平成21年10月1日現在)
　　中心市街地活性化基本計画の認定を受けた又は受けようとしている市町村のまちづくり会社
　　及び中心市街地整備推進機構
- 役員会社:会長:豊田まちづくり(株) 副会長:(株)まちづくり松山
　　監事:盛岡まちづくり(株)、(財)宮崎市花のまちづくり公社
- 賛助会員:4社(平成21年4月1日現在)　会の趣旨に賛同する者
- 事務局(平成21年度まで代行。平成22年度以降は会長会社が担当)
　　都市再生機構、民間都市開発推進機構、全国市街地再開発協会、区画整理促進機構

活動内容

- 中心市街地活性化に係る情報共有・ノウハウの蓄積
 - ・総会(年1回、東京にて開催)
 - ・勉強会の開催(年2回、先進地にて開催、まちづくり会社が行っている事業手法や工夫等の紹介)
- 【勉強会開催実績】
 - △第1回勉強会 H19.10.22.23 富山市 富山市及び各市のまちづくり事例発表
 - △第2回勉強会 H20.2.14.15 東京 各市まちづくり事例発表及びグループ討議
 - △第3回勉強会 H20.10.23 岐阜市 岐阜市まちづくり事例発表及びグループ討議
 - △第4回勉強会 H21.2.19.20 神戸市 長田地区まちづくり事例発表及び分科会
 - △第5回勉強会 H21.10.12 高松市 高松市まちづくり事例発表及び分科会
 - △第6回勉強会 H22.2.18.19 豊田市 豊田市まちづくり事例発表及び情報提供



次回第7回は平成22年10月に松山市において開催予定(国土交通省後援予定)

- HPの設置・情報発信
 - ・会員、事務局の連絡や提案、情報交換など
- 相談室の設置
 - ・まちづくり手法等の相談 (都市機構:全国まちづくり室)
 - ・出融資に係る相談 (民都機構:中心市街地活性化支援室)
 - ・再開発・街なか居住再生ファンド等の相談 (再開発協会:企画部内)
 - ・市街地整備に関する相談 (区画機構:まちなか支援センター内)

まちづくり推進団体

(順不同)

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田商工会議所
豊田まちづくり株式会社
TCCM(豊田シティセンターマネジメント)

フリーパーキング事業

愛知県道路公社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社丸太不動産
豊田市
財団法人豊田市都市整備公社
豊田市都心地区駐車場高度利用協議会

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T-FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社豊田スタジアム
トヨタ自動車株式会社
名鉄トヨタホテル
ひまわりネットワーク株式会社
協同組合豊田市商店街連盟
豊田市美術館
豊田市コンサートホール・能楽堂
豊田商工会議所
豊田市近代の産業とくらし発見館
豊田市駅前通り南開発株式会社
株式会社ホテル豊田キャッスル
株式会社ハクヨプロデュースシステム
トヨタすまいるライフ株式会社
財団法人豊田市体育協会
豊田産業文化センター
財団法人 豊田市国際交流協会
あいち豊田農業協同組合
豊田市民文化会館
豊田市(オブザーバー)

テナントミックス事業

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T-FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
協同組合豊田市商店街連盟
豊田市
豊田商工会議所
名古屋鉄道株式会社

自治区・地域

崇化館地区 一区
崇化館地区 二区西部
崇化館地区 二区東部
崇化館地区 三区
崇化館地区 東区
崇化館地区 西区
崇化館地区 中区
朝日丘地区 小坂
桜町ほうだら会
竹の子村まちづくり協議会
竹生線沿線4自治区まちづくり協議会

商店街・商工会

協同組合豊田市商店街連盟
とよた下町おかみさん会
ひまわり通り商店街振興組合
一番街商店街振興組合
桜町本通り商店街振興組合
豊田市駅前商業協同組合
西町商店街協同組合
喜多町昭和通り発展会
新豊田商店街振興組合
足助中央商店街協同組合
竹生発展会
駅東発展会
昭和町発展会
元城五番街発展会
小坂発展会
足助商工会
稻武商工会

その他各団体・教育機関

愛知県商店街振興組合連合会
中心市街地花飾り実行委員会
豊田おいでんまつり実行委員会
イルミネーションストーリー実行委員会
一店逸品運動実行委員会
ジョイカルウエイブ実行委員会
愛知学泉大学
豊田文化フォーラム
豊田てらこや
洞泉寺楽市楽座実行委員会
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議